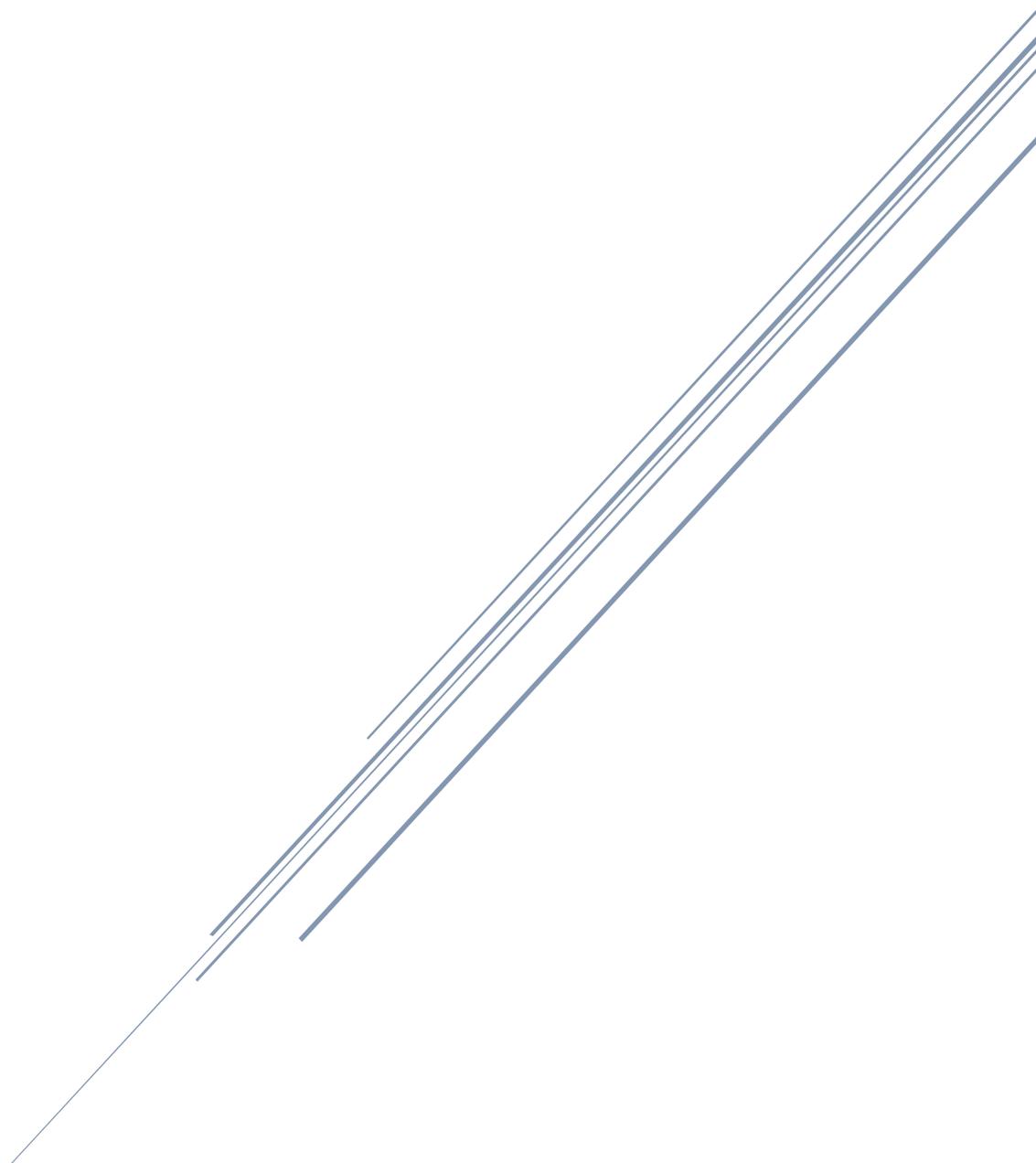


# 2023年度 学校法人玉田学園 事業報告



学校法人 玉田学園

# 目 次

<b>I. 法人の概要</b>	1
1. 基本情報	1
2. 建学の精神	1
3. 学校法人の沿革	1
4. 設置する学校・学部・学科等	2
5. 学校・学部・学科等の学生数の状況	3
6. 収容定員充足率	3
7. 役員の概要	3
8. 評議員の概要	4
9. 教職員の概要	4
<b>II. 法人本部</b>	5
1. 理事会・評議員会の開催状況	5
2. 中期事業計画	5
3. 各センターの活動状況	7
4. 学園のブランド力向上に向けた間接広報の充実	11
5. 地域貢献	12
6. 学園内高大連携事業の推進	13
7. 自治体・一般企業等との連携強化	13
8. その他	14
<b>III. 神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部</b>	15
1. 大学（短大部）の中期事業計画	15
2. キャリア支援の充実及び学生支援の充実	15
3. 入学者の安定確保	20
4. 自己点検・評価への取組	21
5. 国際交流関係事業の推進	22
6. 競争的資金の獲得	23
7. 大学間連携事業の推進	24
8. 産学連携事業の推進	24
<b>IV. 神戸常盤女子高等学校</b>	25
1. 中期計画の策定	25

2. 教育課程	.....	26
3. 進路指導	.....	30
4. 生徒指導	.....	32
5. 募集対策	.....	36
6. 高大連携（学園内交流）強化	.....	38
7. 職員研修	.....	40
8. その他	.....	41
IV. 神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	.....	43
1. 教育充実	.....	43
2. 子育て支援事業の推進	.....	43
3. 園児募集対策	.....	45
4. 危機管理対策	.....	46
5. 大学との連携	.....	46
V. 財務の概要	.....	48
1. 決算の概要	.....	48
2. その他	.....	52
VI. 参考資料	.....	別添

## I. 法人の概要

### 1. 基本情報

①法人の名称：玉田学園

②主たる事業所の住所・電話番号・FAX番号、ホームページアドレス等

<住所>神戸市長田区池田上町92 <TEL>078-691-0561 <FAX>078-691-4562

<URL><http://www.kobe-tokiwa.ac.jp>

### 2. 建学の精神

「女子ニ必須ナル智識技能ヲ授ケ、質実健全ナル母妻ヲ養成スルヲ目的トスル」

### 3. 学校法人の沿革

年	事 項
1908	校祖玉田貞也 私立家政女学校創設
1915	私立神戸高等家政女学校と改称
1921	神戸家政女学校と改称
1932	専攻科・裁縫専修科設置
1944	玉田学園設立 神戸女子商業学校と改称
1946	神戸高等女学校と改称
1948	神戸常盤女子高等学校・神戸常盤中学校と改称
1967	神戸常盤短期大学 設置認可（幼児教育科・衛生技術科） 教員養成・保母資格取得課程 認定される（幼児教育科） 衛生検査技師養成学校として指定される（衛生技術科） 神戸常盤短期大学 開学
1970	神戸常盤短期大学附属幼稚園 開園
1971	臨床検査技師国家試験受験資格指定校となる
1974	臨床検査技師養成校として指定され、臨床検査技師国家試験受験資格指定校となる（衛生技術科3年制）
1983	神戸常盤短期大学衛生技術科専攻科 開設
1984	神戸常盤短期大学幼児教育科専攻科 開設
1988	神戸常盤短期大学教養科 設置認可
1989	神戸常盤短期大学教養科 開設
2000	神戸常盤短期大学看護学科 設置認可
2001	神戸常盤短期大学看護学科 開設
2002	エクステンションセンター 開設 神戸常盤短期大学健康文化学科 設置認可
2003	神戸常盤短期大学健康文化学科 開設
2003	教育課程改訂看護医療特進コース設置
2004	神戸常盤短期大学看護学科通信制課程 設置認可
2005	神戸常盤短期大学看護学科通信制課程 開設
2008	神戸常盤大学 開設 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 開設

	学校法人玉田学園創立百周年
2009	ライフサイエンス研究センター、ボランティアセンター、健康保健センター、KTU 大学教育開発センター 開設
2010	子育て支援センター「子育てひろば えん」 開設
2011	普通科特進コース改組(幼教特進、四大特進、看護医療特進)
2012	神戸常盤大学教育学部こども教育学科 開設
2013	地域交流センター、国際交流センター、教職支援センター 開設
2014	教育イノベーション機構 開設
2016	新2号館 竣工
2018	学校法人玉田学園創立百十周年 子育て総合支援施設「KIT」、子育て広場「ときわんモトロク」オープン
2019	診療放射線技師学校指定校となる
2020	保健科学部診療放射線学科 開設 新8号館 竣工
2021	子育て広場「ときわんノエスタ」オープン、すこラボ 開設 神戸常盤大学医科学研究所 神戸常盤大学 PCR 検査センター 開設
2022	保健科学部口腔保健学科 開設

#### 4. 設置する学校・学部・学科等

学 校 名	学部名等	学科・コース名等	
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	—
		診療放射線学科	—
		口腔保健学科	—
		看護学科	—
	教育学部	こども教育学科	—
神戸常盤大学短期大学部		口腔保健学科	—
		看護学科通信制課程	—
神戸常盤女子高等学校	普通科	総合コース	進学コース キャリアコース
		大学特進看護医療コース	—
		大学特進こども教育コース	—
		大学特進文系コース	—
	家庭科	調理・製菓コース	—
		服飾コース	—
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	—	—	—

## 5. 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和5年5月1日現在)

学 校 名			入学定員	入学者数	収容定員	現員数
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	80	86	320	347
		診療放射線学科	75	86	300	325
		口腔保健学科	70	67	140	133
		看護学科	85	98	330	363
	教育学部	こども教育学科	80	69	320	334
神戸常盤大学短期大学部	—	口腔保健学科	—	—	70	82
		看護学科通信制課程	—	—	150	188
神戸常盤女子高等学校	—	—	285	199	905	646
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	—	—	15	9	60	26

※高等学校、幼稚園の入学定員は募集定員を計上。収容定員も募集定員の合計を計上。

## 6. 収容定員充足率

(令和5年5月1日現在)

学 校 名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
神戸常盤大学	1.08	1.10	1.11	1.10	1.07
神戸常盤大学短期大学部本科	1.10	1.07	1.13	1.12	1.17
神戸常盤大学短期大学部通信制課程	1.26	1.06	0.94	1.00	1.25
神戸常盤女子高等学校	0.93	0.88	0.82	0.79	0.71
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	0.63	0.65	0.62	0.50	0.43

## 7. 役員の概要

(令和5年5月1日現在)

役 名	氏 名	就任年月日	常勤・非常勤	備 考
理 事 長	中村 忠司	平成30年4月1日	常 勤	
副理事長	旭 潤一郎	平成2年4月1日	〃	法人本部長
理 事	濱田 道夫	平成29年4月1日	〃	大学・短大学長
〃	友井 基浩	令和4年4月1日	〃	高校長
〃	旭 次郎	昭和59年4月1日	非常勤	学園長
〃	摺河 祐彦	平成8年3月29日	〃	
〃	後藤 武	平成15年5月29日	〃	
〃	木村 光男	令和4年4月1日	〃	
〃	宮田 英和	令和4年4月1日	〃	
監 事	尤 昭福	平成19年5月18日	〃	
〃	八代 智	平成31年4月1日	〃	

・役員賠償責任保険契約の状況

保険会社：〔幹事〕東京海上日動火災保険株式会社

契約者：日本私立大学協会（会員である学校法人を記名法人とする団体契約）

保険種類：役員賠償責任保険

被保険者：〔個人被保険者〕理事・監事、評議員

〔記名法人〕学校法人玉田学園

総支払限度額：5億円

## 8. 評議員の概要

（令和5年5月1日現在）

役名	氏名	就任年月日	備考
評議員	中村 忠司	平成18年4月1日	理事長
〃	旭 潤一郎	平成30年4月1日	副理事長
〃	濱田 道夫	平成29年4月1日	大学・短大学長
〃	友井 基浩	令和4年4月1日	高校長
〃	旭 次郎	昭和59年4月1日	学園長
〃	大森 雅人	令和3年4月1日	大学副学長
〃	尾崎 雅子	令和4年5月26日	大学教授
〃	高木 真美	平成25年5月28日	幼稚園長
〃	松元 英理子	平成30年4月1日	大学教授
〃	瀬山 伊佐子	令和5年4月2日	高校教頭
〃	笹川 久子	昭和48年4月14日	
〃	岡部 文雄	令和元年5月28日	大学同窓会長
〃	黒山 喜	令和元年5月28日	
〃	山崎 彩子	令和3年5月28日	大学後援会長
〃	原口 由佳理	令和4年5月26日	
〃	山口 将生	令和4年5月26日	
〃	興梠 輝政	平成20年5月28日	
〃	柴山 慶太	令和元年5月28日	
〃	野村 慶雄	平成29年5月29日	

## 9. 教職員の概要

（令和5年5月1日現在）

区分	教員		職員	
	本務	兼務	本務	兼務
神戸常盤大学	96	192	43	28
神戸常盤大学短期大学部	20	20	4	8
神戸常盤女子高等学校	51	17	10	—
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	5	2	—	—
合計	172	231	57	36

## II. 法人本部

### 1. 理事会・評議員会の開催状況

#### <理事会>

- 第1回 令和5年5月26日
- 第2回 令和5年10月12日
- 第3回 令和5年12月15日
- 第4回 令和6年3月22日

#### <評議員会>

- 第1回 令和5年5月26日
- 第2回 令和5年10月12日
- 第3回 令和5年12月15日
- 第4回 令和6年3月22日

### 2. 中期事業計画

#### 【新規】大学の3学部体制（看護学部（仮称）の設置（令和7年4月開設予定））

- 4月末 設置届出済
- 5月末 指定申請（予定）

#### 【新規】保健科学部医療検査学科の研究科（大学院）設置の検討

大学院設置の有無について、当該学科と鋭意協議中。

#### 【新規】建物および施設設備の改修

- 神戸常盤大学
- 9月 本館棟エアコン改修工事完了

#### 【新規】株式会社トキワとの包括協定締結

少子高齢化社会の様々な課題に対し、「健康」をキーワードとする同社と包括連携協定を締結、本学の研究成果を相互に活用、学生・生徒への食育を実施予定。

令和5年8月30日に同社本社（香住町香住区）調印式を執り行った。このことが、複数の新聞等メディアの取材を受け、日本海新聞、神戸新聞に記事が掲載された。また、健康ふれあいフェスタにも出店いただいた。

### 【新規】神戸市立児童館指定管理者への応募

令和6年度より東灘区、垂水区の複数の児童館の契約が更新予定。その中で垂水児童館が今年度より新設・移転でスタート。同児童館には、神戸市内各区役所に設置されている「おやこふらっとひろば」が併設されている。これは、神戸市でも初めてのケースであるため、指定管理者の応募を検討予定。

令和5年7月31日が応募の締め切りであったが、様々なケースを検討した結果、神戸市社協とタッグを組むこととし、指定管理者への応募を市社協が行い、採択となった場合、「おやこふらっとひろば」の運営のみを本学が再委託をうける方式で申請。同年9月末に神戸市より正式に市社協が指定管理者に決定し、来年度より本学が「おやこふらっとひろば垂水」を運営していくこととなった。本学としてはときわんノエスタに続き、4施設目、「ときわんタルミ」として運営に臨んでいきたい。

### 【新規】長野へのボランティア養成ツアー（下記法人「3 地域貢献」とリンク）

ここ数年コロナのため様々な催しが中止となり、本学の目指すべきボランティア活動のバトンリレーが十分に行えていない状況である。そこで、10名程度を予定

公募し、年を通して教育を行っていく。夏期休暇中には長野県長野市豊野地区（予定）で1泊2日程度の合宿を行い、実践的なトレーニングを行う予定。

※令和4年度に実施予定であったが、コロナ禍で実施出来ず、令和5年度に初回を開催予定。

「小豆島地域交流合宿（地域との協働B）」との日程調整の都合もあり、今夏には実施出来ず、年度末に実施予定したが、福島スタディツアーとの関係で実施出来なかった。

### 【新規】神戸常盤大学附属ときわ幼稚園の「子ども・子育て支援新制度」への移行等に向けた検討

令和6年4月より新制度園（施設型給付）に移行し、運用開始。

### 【新規】学園チューター制度の導入

神戸常盤女子高等学校生徒に対する放課後個別学習指導を神戸常盤大学の学生が行う制度。本年4月の運営委員会（大学）にて友井校長からの協力要請を受け、6月よりスタート。

<令和5年度実績>

- ①登録学生数：12名
- ②実施日数：50日 **※7～9月、3月は未実施**
- ③実施回数（延べ数）：86回

### 【継続】学園隣接地の土地建物の買収

- ①令和5年6月に阪神高速道路（株）所有の土地の隣接地を購入。

<所在>神戸市長田区大谷町二丁目  
<地番>22 番 43  
<地目>宅地  
<地積>160.29 m<sup>2</sup>  
<価格>150 万円

②令和 5 年 6 月に神戸常盤女子高等学校近隣にある土地・建物を購入。

<所在>神戸市長田区池田上町  
<地番>61 番 38 (居宅：61 番地 38)  
<地目>宅地 (居宅：木造瓦ぶき 2 階建)  
<地積>86.77 m<sup>2</sup> (居宅：1 階 35.53 m<sup>2</sup>、2 階 24.79 m<sup>2</sup> 計 60.32 m<sup>2</sup>)  
<価格>618 万円 (土地・建物)

### **【継続】学園一体化の更なる推進**

学園の更なる発展を目指し、協議を進めていく。

大学、高等学校、および幼稚園の連携強化に向けて、鋭意協議中。

## **3. 各センターの活動報告**

### **健康保健センター**

#### **I. 健康管理室の活動**

##### **1. 抗体価検査に関する活動**

抗体価に関する活動については、各学科臨地実習委員長との調整を図り、学科と健康保健センター（以下「センター」とする。）の役割を明確にした。センターは、学科と連携しながら、学生の接種証明の管理、入学時に学生の母子手帳の接種歴記録の確認と情報管理を行っている。

##### **2. 健康調査に関する活動**

今年度、入学前健康調査と相談希望の個人面接は計 6 名であった。調査結果と面談内容は学科と情報共有し、支援体制を検討した。また、困難ケースについては、学生ケースカンファレンスを行い、支援の方向性の検討を行い支援体制を整えた。現在、学生の合理的配慮は、各学科で判断し行われているため、2024 年 4 月 障害学生支援の義務化に向け障害学生支援規程（案）・健康保健センター規程を再確認し、大学として合理的配慮の考え方を検討し決定を運営委員会に委ねる。

##### **3. 健康診断に関する活動**

2023 年定期健康診断を 3 月下旬から 4 月上旬に実施。受診状況は、全学科休学者以外 7 名の学生が受診せず、受診指導を学生委員会と連携し実施した。

##### **4. 学生の健康管理室利用**

健康管理室の利用者数年間延べ 142 件（2022 年度：133 件）1 件に係る平均利用時間数は 82 分（2022 年度：98 分）。利用内容は内科症状 110 件（2022 年度：71 件）外科的症状 16 件（2022 年度：4 件）心の問題 52 件（2022 年度：9 件）緊急搬送 1 件（2022 年度 1 件）。社会の変化として感染症の制限のない学生生活となり、利用数の大幅な増加があ

った。

今年度は救急搬送・自殺企図や自傷行為等の緊急性の高いケースがあり学科からの相談対応 23 件(2022 年度：5 件)・カンファレンス 3 件(2022 年度：1 件)等、学科教員からの相談対応・カンファレンスも増加した。

## 5. その他

入学後は新入生が大学生活への適応に苦勞する時期でもあることからオリエンテーション時に、センターの紹介を行うことで、学生自身のセンターの活用しやすさにつながっていると考える。

## II. 学生相談室の活動

カウンセリングルーム利用率は約 60% (延べ 240 名) (2022 年度：約 26%)、学生からの健康相談 19 件(2022 年度：6 件)。疾患や障がいのある学生の利用をはじめ、その他、学生生活の中での友達との関係や修学する悩み(試験・学内実習・学外実習)等から利用する学生もあり、昨年と比べ大幅に増加した。学生のカウンセリングや学生相談の利用件数や利用状況から学生の多様性に対応するため、次年度は授業期間中は週 3 回(月・水・金)カウンセラー 3 名体制で学生支援を行えるように活動できるように調整する。

### 地域交流センター

例年、離島プロジェクトとして実施している、小豆島町と連携した島の活性化事業「小豆島地域交流合宿(地域との協働 B)」を 4 年ぶりに実施した。

このほか、地域住民へ生涯学習の場を提供するという目的のもと、対面開催 8 講座、オンライン開催 1 講座。また、前期公開講座には「芸術文化論」の特別聴講も 2 講座組み入れて開催した。

### 国際交流センター

学生の国際的な視野の獲得、新たな知識の習得と共感力の向上。これらに資することを目的として本センターは様々な国際交流活動を展開してきており、本年度は以下の活動を行った。

- ①国際交流センター主催の基盤教育科目「国際理解」の開講
- ②大学コンソーシアムひょうご神戸への海外研修プログラム(「国際保健医療活動 II」MN コース)の開放
- ③ネパール交換研修の実施  
通学生 7 名(M 科 2 名、N 科 2 名、R 科 1 名、E 科 2 名)を全学の選考委員会で選考し、2023 年 12 月 21 日-28 日の日程で上記学生の派遣を行った。
- ④国際交流センター異文化体験プログラム
  - ・「ヨガ講座」、「ネパール語勉強会」を学内で実施した。
  - ・「国際クッキング」を本学の学生が企画し、長田区の留学生とともに実施した。

## 教職支援センター

本報告は「令和5年度 教職支援センター 事業計画」に基づき、教育学部の教員と連携して行われた事業についてまとめたものである。

### <教員採用試験対策の実施>

本年度は、教育学部の教員と協力し、教員採用試験対策を実施した。その成果として、小学校教員に関して、以下の地域で14名の学生が正規の教諭として採用された。

兵庫県：1名 大阪府豊能地区：1名 大阪市：4名  
川崎市：2名（うち1名は3年生） 鳥取県：2名 愛媛県：2名 高知県：1名  
岡山市：1名

また、採用試験の結果は以下のとおり。

一次試験合格率：目標 60% → **実績 110%**

最終合格者数：目標 30% → **実績 75%（条件付き採用を含めると 90%）**

中・長期目標としては、公立学校教員合格者を2桁輩出する体制を構築し、新卒20名中13名が最終合格し、目標を達成した！

### <保育士採用試験対策の開始>

さらに、令和5年度からは、公立保育士の採用試験対策を開始し、以下の地域で9名中7名が正規の保育士として採用された。

神戸市：2名 尼崎市：2名 貝塚市：1名 姫路市：1名 加東市：1名

### <来年度以降の展望>

来年度以降も、教職支援センターは、公立保育士・公立幼稚園教諭の採用試験対策に取り組み続ける。

## 教育研究推進センター

- ・「テーマ別研究」について、学内周知の強化を図り、30件の申請があり、21件を採択した。  
※申請区分内訳：基礎研究 18件、ブランディング研究（教育）6件、  
ブランディング研究（地域）6件  
採択区分内訳：基礎研究 12件、ブランディング研究（教育）4件、  
ブランディング研究（地域）5件
- ・12月24日の「神戸常盤学術フォーラム」を昨年同様対面で実施すべく、その準備と一般演題の募集を開始する予定である。
- ・学外に公開している「研究シーズ集」を廃止し、researchmapの充実を図ることで、それを「研究シーズ集」の代替とすることにした。それに伴い、本学ホームページの各学科の教員紹介のページの「主な担当科目等」の右に新たに「研究領域・内容」の列を加えてもらうように担当部署に要請し、了解を得た。
- ・昨年度同様に、本学に届いた「外部資金」募集案内を毎回オールメールでの全学的発信を行っている。

- ・従来どおり、9月中旬の科研費の申請期限に向けて、学内にて申請書類の校閲と加筆修正のアドバイスをを行う予定である。

### 口腔保健研究センター

- ①地域住民並びに職員・学生の口腔健康を維持・増進するために地域社会活動を充実する。
- ②新歯科診療所を利用した社会貢献と研究体制を構築する。
- ③リカレント教育における口腔保健研究センターの役割の明確化

### ①地域住民並びに職員・学生の口腔健康を維持・増進するために地域社会活動を充実する。

目標達成のために地域貢献活動の充実化として下記内容を実行してきた

#### 1. 口腔保健活動

- ・歯科相談（歯ッピー相談会：KIT・もとりく施設・ノエピアスタジアム）を実施し、107組の親子が利用した。
- ・長田区保健医療介護フォーラムで地域住民へ講演も行い、学生14名（地域ボランティア活動）が参加し、これらの状況はJ-COMの地域ニュースにて報道された。
- ・歯科医師会と連携し、長田区で開催された保健医療介護フォーラムに参加し、オーラルフレイルに関する講演を行った。

#### 2. 歯科健診活動：以下の歯科健診を実施した。

- ・神戸常盤女子高（648名）、ときわ幼稚園（27名）、大学新入生（406名）に実施。
- ・国際協力活動としてウクライナ避難民に対する歯科健診（12名）を実施した。
- ・立花うるま保育園（39名）、名倉みふね幼稚園（97名）に実施した。
- ・企業向け歯科健診として、太陽刷子52名

※なお、これらの活動から、以下の内容で学術誌に発表した。

- ・兵庫県歯科医師会会報（3月号）  
「大学新入生に対する過去3年間における歯科健康診査に関する調査」（八木）
- ・紀要第17号  
「長田区在住の留学生に対する健康支援活動の報告」（高橋・宮澤・水村・戸谷・濱田）

### ②新歯科診療所を利用した社会貢献と研究体制を構築する。

目標達成のために地域貢献活動の充実化として下記内容を実行してきた

- ・新歯科診療所で保険診療活動を行い、また、学生の歯科健診後の2次利用を促した。（年間延べ1,511名利用（平均6.5名/日））
- ・学生実修施設として、延べ368名（109日間）が利用し、学修の活動拠点となった。（科目内容：3年：地域口腔保健支援実習Ⅰ（保護者実習・学外施設の代替）・口腔保健学実習Ⅱ、2年：基礎臨地実習、1年：早期臨地実習）
- ・歯科診療を通じて学会発表（11件）を行った。（次年度、国際発表1件を準備）

### ③リカレント教育における口腔保健研究センターの役割の明確化

目標達成のために地域貢献活動の充実化として下記内容を実行してきた

- ・整備計画中のリカレント教育向け「歯科衛生士研修・研究センター（仮称）」として、歯科診療所施設での研修利用について履修科目に応じて、診療所利用項目を盛り込む

プログラムへと改編し、また、修了生に継続的な案内等を行った。

## 子育て総合支援施設 KIT

詳細は「5 地域貢献」に記載。

## ライフサイエンス研究センター

ライフサイエンス研究センターでは、本年度以下の内容で研究を行い、本学の生命科学研究の活性化を進めた。

マクロファージを標的とした輸血後鉄過剰症治療薬の探索、FIV 感染細胞を標的とした抗体依存性細胞傷害作用について、CAR (Chimera Antigen Receptor) -T 細胞とリンパ性白血病の免疫逃避機構に関する研究、フィブリノゲン生成分泌制御機構に関する研究、敗血症マーカープレセプシンの産生機序の解明、保育施設におけるオムツ処理規定モデルの構築、薬剤耐性淋菌の遺伝学的解析、歯周病原細菌が誘発する炎症応答におけるフラボノイドの作用機序解明、各種検体からのウイルスなど微小物質の高効率濃縮/回収法の開発、Direct (RT)-PCR 用酵素/反応液の改良、それらを組み合わせた検出キットの開発、などに関する研究、オートファジーを介した好中球機能の制御機構の解明、スプライシングを制御するアンチセンス核酸薬の開発、培養上清における Titin の測定、DMD 遺伝子の exon 1a のスキッピング誘導とジストロフィン発現との関係、新規熱帯疾患コントロールツールの開発。

## 4. 学園のブランド力向上に向けた間接広報の充実

学園のさらなるブランド力向上に向けた間接広報充実のための取組みとして、より戦略的な広報を学園全体で展開することを目的とし、大学、高等学校、幼稚園ともにホームページをリニューアルする。このほか、従前の JR および私鉄主要駅への広告掲載や SNS 広告、テレビやラジオなどのメディア媒体を活用した広報、あるいはヴィッセル神戸とのパートナーシップ契約に基づくヴィッセル神戸のホームページ等への本学ロゴの掲載、「ノエビアスタジアム神戸でのホームゲーム時（ヴィッセル、アイナック）の子育て広場開催」、ときワンが FC. AWJ の公式応援団長に就任するなど、広く学園のブランド力向上に繋がる広報を展開していく。

TV やラジオなどのメディア媒体を活用した広報、あるいはヴィッセル神戸とのパートナーシップ契約に基づくヴィッセル神戸の HP 等への本学ロゴの掲載、「ノエビアスタジアム神戸でのホームゲーム時（ヴィッセル、アイナック）の子育て広場開催」、ときワンが FC. AWJ の公式応援団長に就任するなど、学園のブランド力向上に繋がる広報を展開した。

## 5. 地域貢献

近年、学園に対する地域社会からのニーズは年々増加し、その内容も多岐にわたる。地域の要請に、より迅速かつ的確に対応するとともに、学生への教育効果を更に高めるため、地域交流センター（ボランティアセンター含む）を中心に、「地域の課題解決」や「まちの活性化」、「ボランティア（平時・有事）活動」などの幅広い活動を展開する。地域社会＝（イコール）学びのフィールドと位置付け、大学生・高校生は教育課程内外の様々な活動を通じて地域貢献を果たすと同時に、生き抜く力（いわゆる人間力）を身に付けることを目的に事業を推進する。また、大学の教学マネジメント改革により、新たに教育課程内の授業に地域活動を取り入れる。（授業科目名：「地域との協働 A」、「地域との協働 B」など）

また、コミュニティハウスで取り組む「まちの活性化プロジェクト」においては、地元の大きな期待と神戸市の要請を受け、兵庫県・神戸市の協力のもと、平成 29 年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」を活用して、震災復興再開発地区の不活性エリア（新長田南地区）に、神戸常盤大学子育て総合支援施設「KIT」を開設。引き続き、未就園児から小学生まで切れ目の無い子育て支援事業を計画する。コミュニティハウスにおいても 4 回/年に健康チェックを本学主催で実施。

令和 3 年度にノエビアスタジアム神戸内に「ときわんノエスタ」と「てらこやノエスタ」を開設したことをきっかけに同スタジアムをホームとするヴィッセル神戸、INAC 神戸レオネッサのホームゲーム時にキッズスペースを運営し、ゲーム開催に協力している。

令和 6 年度より本学が運営する施設として 4 施設目となる「おやこふらっとひろば垂水」の運営を受託し、スタートさせる。

このほか、多文化共生を推進していく母体の片翼でもある「ときわ健康キャラバン」が「しんかいち国際保健室」、「カトリックたかとり教会」等で定期的に活動を行っていく。神戸国際コミュニティセンター(KICC)との協定をベースにした活動をさらに充実させていく。

### 神戸常盤大学子育て総合支援施設（KIT）

子育て広場「ときわんクニヅカ」利用者状況

- ◎集計期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月
- ◎開室日数：234 日
- ◎利用者延べ人数：10,623 名
- ◎1 日あたりの平均利用者数：45.4 名

本学 2 施設目の子育て広場「ときわんモトロク」

「ときわんモトロク」利用者状況

- ◎集計期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月
- ◎開室日数：234 日
- ◎利用者延べ人数：7,558 名
- ◎1 日あたりの平均利用者数：32.3 人

本学 3 施設目の子育て広場「ときわんノエスタ」

「ときわんノエスタ」利用者状況

- ◎集計期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

- ◎開室日数：246 日
- ◎利用者延べ人数：7,053 名
- ◎1 日あたりの平均利用者数：28.7 人

## 6. 学園内高大連携事業の推進

学生・生徒の確保、質の向上、職業意識の向上など双方のメリットのある事業を展開していく。関連施設である子育て総合支援施設 KIT の既存 3 施設（ときわんクニヅカ、モトロク、ノエスタ）に加え、令和 6 年度より「おやこぷらっとひろば垂水（JR・山陽電鉄垂水駅前（神戸市垂水区）」が新たに加わるることとなることから、地域貢献は勿論のこと、より充実した教育連携等に繋がることを期待する。このほか、地域交流センター、国際交流センター、神戸市との共同プロジェクト「コミュニティハウス」の共同利用等により、地域貢献、国際交流等を通じた学生・生徒のスキルアップに繋がる事業を展開したい。

神戸常盤女子高等学校との連携については、毎年 4 月に実施される歯科検診への教員（歯科医師、歯科衛生士）の派遣や、1・2 年生を対象とした医療検査学科、看護学科、診療放射線学科、および口腔保健学科の各体験授業、特に、こども教育学科においては大学特進こども教育コースの科目「保育進学基礎」において、リズムあそび等を交えた体験授業の実施など、体験授業を通じたの生徒の専門職への理解、学習意欲の維持・向上等に繋がるようプログラム構成している。このほか、学年ごとに実施される女子高主催の進路説明会（業者説明会）、サマーオープンスクールへの講師あるいは卒業生の派遣、KOBE TOKIWA 健康ふれあいフェスタの実施など、学園内での高大連携事業の推進に努めた。（【資料 2-2】参照）

## 7. 自治体・一般企業等との連携強化（「5. 地域貢献」ともリンク）

魅力ある大学づくりの一環として、自治体あるいは一般企業等と連携協定を締結し、より充実した地域・社会貢献は勿論のこと、学生の学びのフィールドとしても活用していく。

これまでの主な連携協定先は、以下のとおり。

### <各種連携協定先一覧>

年	協定先	協定内容等	備考
平成 20 年 (2008 年)	・神戸市長田区 ・三田市（三田市民病院）	地域連携指定校卒の学生に係る看護専門職の育成に関する基本協定	
平成 27 年 (2015 年)	神戸市	災害時における要援護者支援に関する協定 [福祉避難所指定]	
平成 30 年 (2018 年)	・兵庫県淡路市 ・神戸市（長田消防署）	消防署見学に来た幼稚園児や小学生児童への防災教育	
令和元年 (2019 年)	・社会福祉法人神戸聖隷 福祉事業団	イベントへのボランティア派遣、本学学生への助成金（遠隔授業支	

	・社会福祉法人聖隷福祉事業団	援)	
令和3年 (2021年)	公益財団法人神戸国際コミュニティセンター (KICC)	国際保健室活動の共同開催、本学てらこやに通う外国にルーツのある児童への日本語指導	
令和4年 (2022年)	香川県小豆郡小豆島町	「地域との協働B」の合宿を実施	
	太陽刷子株式会社	オリジナル歯ブラシ開発、神戸阪急での販促イベントに学生参加	
令和5年 (2023年)	・社会福祉法人みかり会 ・株式会社TA商事 ・株式会社ときわ ・社会福祉法人日の出医療福祉グループ		
令和6年 (2024年)	医療法人社団濤標会 ※締結予定		

## 8. その他

### ネーミングライツ（命名権）の更新・継続

平成29年度より兵庫県立文化体育館のネーミングライツ（命名権）を取得。（7年目）。

【公募機関】 兵庫県

【名称】 神戸常盤アリーナ

【契約期間】 令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間、更新可能）

平成29年度より兵庫県立文化体育館のネーミングライツ（命名権）を取得。

令和5年度に契約更新し、7年が経過。

### ラジオ番組提供 ※ABCラジオにて提供中

同局のサービスエリアは、東は静岡県西部（浜松市周辺）、西は福岡県・大分県の瀬戸内海沿岸（北九州市・大分市周辺）、北は福井県（福井市周辺）や鳥取県（鳥取市周辺）、南は高知県（室戸市・高知市周辺）までをカバーしており、広いエリアでの認知度向上に繋げる。

ABCラジオにて提供中。

## Ⅲ. 神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部

### 1. 大学（短大部）の中期事業計画

- ①大学の3学部構想（法人「1 中期事業計画－【新規】大学の3学部体制」とリンク）  
現保健科学部看護学科を「看護学部（仮称）」として独立させ、3学部体制とする。
- ②保健科学部医療検査学科の研究科（大学院）設置の検討（法人「1 中期事業計画－【新規】保健科学部医療検査学科の研究科（大学院）設置の検討」とリンク）

詳細は「Ⅱ. 法人本部－2. 中期事業計画」に記載。

### 2. キャリア支援の充実及び学生支援の充実

令和5年度も各学科就職委員会と連携の上、就職支援に取り組む。従来より推進する「キャリアサポーター（卒業生）」の参加型による在校生へのガイダンス、懇談会等は昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響のため、一部縮小を余儀なくされたが、開催時期、遠隔開催等工夫しながら概ね開催することが出来た。今年度はコロナ前の計画に戻し、全ての学科で実施し、業界研究、職種研究等の就職活動の準備対策に繋げていく。また、診療放射線学科が完成年度を迎え、第1期生の就職支援に対しては、学科と連携しながら早期より支援して行きたい。また、看護学科、こども教育学科の福祉施設の採用試験が早期化しており、新年度早々から学生対応を行っていく。

#### 【医療検査学科】

臨床検査技師求人については、3年次に業界研究、職種研究を行い病院以外の検査センター、検診センター、企業（治験）等、学生の職業観を醸成し、進路選択の幅を広げた就職支援を行う。

就職希望の多い病院の求人については、兵庫県内、地方（下宿生の地元）の求人開拓も含め、3年間はコロナの影響で施設訪問に制限があったが、今年度は積極的に訪問件数を増やし訪問開拓する。

#### 【診療放射線学科】

看護学科、医療検査学科就職先病院、健診センター、乳腺クリニック等施設開拓のための求人票送付を令和4年度3月に実施、また、同時期に他学科の就職実績施設、実習先施設を学科教員、キャリア支援課職員が訪問を開始しており、今年度も引き続き求人確保のため関連施設の訪問開拓を行い、就職支援に繋げたい。

#### 【看護学科】

看護師求人については、近年の求人減少傾向にある。また、試験日程の早期化、試験回数縮小から、早期の就職活動が不可欠となっている。3年の4月よりガイダンスを計画しており、夏休み期間に実施するインターシップに積極的参加を促し、4年次早々の採用試験に対応する。

#### 【こども教育学科】

就職先として小学校、幼稚園、保育園、福祉施設が主であるが、小学校教諭、公立幼稚

園・保育所に関しては教職支援センターと連動して、採用試験対策を講じていく。民間施設については、県、市の外郭団体との信頼関係の中、毎年複数名が就職出来ており、今後とも関係を強化していく。

一般就職希望者に対しては、今年度より通常開催に戻っており、採用試験も早期化していることから早期の試験に対応すべく支援していく。

#### 【口腔保健学科】

今年度は短大最後の卒業生となる。平成20年度開設より13期生の卒業生が巣立っており、色々な施設で歯科衛生士として活躍しており、今後もキャリアサポーター（卒業生）の力を借り就職に繋げて行く、求人数に少ない病院、企業等の就職者も増やして行きたい。

#### 令和5年度就職状況（令和6年5月1日現在）

	卒業生	進学希望者	進学者	就職希望者	就職者	就職率(%)
医療検査	74	2	2	67	67	100
診療放射線	55	3	3	45	45	100
看護	80	1	1	75	75	100
こども教育	90	2	2	84	84	100
口腔保健	82	0	0	77	73	94.8

#### 令和5年度国家試験合格率

	受験者数	合格者数	合格率	全国平均(新卒)	全国平均(%)
臨床検査技師	74	68	91.9	88.0	76.8
診療放射線技師	55	48	87.3	86.3	79.5
看護師	80	75	93.8	93.2	87.8
保健師	16	16	100.0	97.7	95.7
歯科衛生士	79	77	97.5	—	92.4

#### ■キャリアサポーター（卒業生）による勉強会

##### 【医療検査学科】

月日	対象	事項	備考
6月17日(土)	1年生	【現場で活躍する臨床検査技師の話】 神戸市立西市民病院、姫路赤十字病院、県立がんセンター、(株)エスアールエル	対面

##### 【診療放射線学科】

月日	対象	事項	備考
4月8日(土)	1年生	【現場で活躍する診療放射線技師の話】 北播磨総合医療センター、明舞中央病院、(新入生オリエンテーション)	対面

9月9日(土)	3年生	【就職内定者(4年生)の話を聴く会】 兵庫県立病院、(株)千代田テクノル、香川 大学医学部附属病院、金沢大学大学院(進学)	対面
---------	-----	---	----

### 【看護学科】

月 日	対 象	事 項	備考
4月23日(日)	全学年	【先輩養護教諭の話を聴く会】 神戸市立友生支援学校	対面
5月20日(土)	3・4年生	【保健師課程国家試験対策勉強会】 姫路市保健所、宝塚健康福祉事務所	対面
7月13日(木)	3年生	【ときわ病院について】 入職2年の卒業生(2名)と交流	対面
8月7日(月)	3年生	【先輩看護師(卒業生)の話を聴く会】 尼崎総合医療センター、神戸百年記念病院、 県立リハビリテーション中央病院、三田市民 病院、神鋼記念病院、西宮協立脳神経外科病 院	対面

### 【こども教育学科】

月 日	対 象	事 項	備考
10月28日(土)	3年生	【現場で活躍する卒業生懇談会】 尼崎市立南武庫之荘保育所、(福)みかり会 小規模保育事業 多夢の森 神戸常盤大学附 属ときわ幼稚園 (福)兵庫県社会福祉事業 団 三木精愛園 BABYJOB 株式会社(一般企 業)	対面
12月14日(木)	2・3年生	【4年生就職体験報告会】 川崎市(小学校教諭)、神戸市(保育士)、 (福)日の出福祉会、(学)あけぼの学院、 (福)兵庫県社会福祉事業団、(株)あかちゃ ん本舗	対面

### 【口腔保健学科】

月 日	対 象	事 項	備考
4月8日(土)	1年生	【現場で活躍する歯科衛生士の話】 明和病院、長浜保健所。ケアホーム住吉、大 手前短期大学(教員)、(新入生オリエンテ ーション)	対面
1月16日(火)	2年生	【現場で活躍する歯科衛生士の話】 生協なでしこ歯科	対面

## ■企業研究

### 【医療検査学科】

月 日	対 象	事 項	備考
9月9日(土)	3年生	大阪府結核予防会 兵庫県臨床検査研究所 富山大学大学院(進学)	対面

### 【診療放射線学科】

月 日	対 象	事 項	備考
9月9日(土)	3年生	株式会社千代田テクノル、富士フィルムヘルス ケア株式会社、近畿健康管理センター	対面

## ■一般企業関連

### 【こども教育学科】

月 日	対 象	事 項	備考
4月20日(木)	3年生	マイナビ就職講座(インターンシップ講座)	対面
11月16日(木)	3年生	マイナビ就職講座(自己理解・仕事研究講座)	対面
12月21日(木)	3年生	マイナビ就職講座(マナー講座)	対面
1月18日(木)	3年生	マイナビ就職講座(選考対策講座)	対面

## ■各種団体との懇談会

### 【こども教育学科】

月 日	事 項
5月13日(土)	姫路市私立こども支援機構
6月9日(金)	姫路福祉経営セミナー
7月5日(水)	大阪府私立幼稚園連盟
7月24日(月)	兵庫県私立幼稚園協会
11月8日(水)	神戸市私立幼稚園連盟
11月15日(水)	神戸市私立保育園連盟

## ■各種講座

月 日	対 象	事 項	備考
4月25日(火)	こども教育学科3年生	公立幼稚園、保育所受験対策	
7月14日(金)	口腔保健学科2年生	自己分析講座	
8月2日(水)	口腔保健学科3年生	マナー講座	
		小論文対策講座	
8月8日(火)	診療放射線学科3年生	小論文対策講座	
3月19日(火)	看護学科3年生	小論文対策講座	
3月21日(木)	医療検査学科3年生	小論文対策講座	

3月18、19日	全学科対象	SPI 対策講座	
----------	-------	----------	--

### ■求人関連訪問先一覧

月 日	訪 問 先	担 当	備 考
5月30日(火)	めいなん虹保育園、北おうじ虹こども園、明石こども園、あいすくりーむの家	木村、植木	
6月30日(金)	神戸百年記念病院、ときわ病院	木村	
8月25日(金)	中院クリニック	福田	
8月29日(火)	神戸掖済会病院、神戸順心病院、高砂西部病院	木村	
9月1日(木)	公立豊岡病院	木村、福田	
9月21日(木)	同朋福祉会	木村	
11月1日(水)	ときわ病院	木村、福田	
2月16日(金)	兵庫県立リハビリテーション病院	木村	
2月20日(火)	石川病院、城陽江尻病院、入江病院、順心病院	木村、福田	
2月29日(木)	済生会兵庫県病院、大山記念病院	木村	
3月1日(金)	勝原保育園、書写保育園、あいむ保育園	木村、植木	
3月8日(金)	中院クリニック	福田	
3月11日(月)	西宮協立脳神経外科病院	木村	
3月12日(火)	関西青少年サナトリウム、神戸掖済会病院	木村	
3月22日(金)	川西市総合医療センター	福田	
3月27日(水)	隈病院	福田	

### ■令和5年度修学支援奨学金（採用分）

令和2年度よりコロナ禍の影響により家計収入が減少した者を対象として募集したが、今年度より従来の修学支援制度に準じ、上限金額300,000円として募集を行った。

※新入生10名、在校生17名計27名の申請

学 科	対 象	金 額	人 数	合計(円)
医療検査	全学年	300,000	6	1,800,000
診療放射線	〃	300,000	2	600,000
口腔保健	〃	300,000	1	300,000
看護	〃	300,000	2	600,000
合 計	—	—	11	3,300,000

### ■国の物価高に対する経済対策支援事業（日本学生支援機構）

- ・下宿生活を送るための食費に対する支援

円安やウクライナ情勢等の国際情勢に端を発する資源価格上昇に伴う物価高の影響への対策として、下宿生に学内の食堂およびコンビニで使用できる金券（5,000円分）を支給。

支給額：5,000円/1人      助成金：778,500円

学 科	対 象	金 額	人 数	合 計 (円)
医療検査	下宿生	5,000	72	360,000
診療放射線	〃	5,000	46	230,000
看護	〃	5,000	19	95,000
こども教育	〃	5,000	21	105,000
口腔保健	〃	5,000	15	75,000
合 計	—	—	173	865,000

### 3. 入学者の安定確保

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針も変更となり、近隣地域で本学と同系統の学科養成校が競合している中、専門職大学の開設、学科の新設などにより学生の確保が激化することが想定されます。これらを踏まえ、全ての学科で入学者を安定的に確保するには、本学の特色と確たる実績を周知することで知名度を高めると共に在学生の自尊心を高揚させ、資質の向上を図り満足度を高める必要がある。そのためにも、学生募集戦略に立った日常的な広報活動に加えて、教職員一人ひとりが大学力の向上を目指す意識を持ちつつ、各委員会では議論を活発化させる中で情報を共有し、一層の連携強化・充実を図る。

また、令和4年4月に開設した保健科学部口腔保健学科については、既存の学科が培ってきた充実したチーム医療を実践できる大学であることの強みを生かすと共に短期大学部時の教育実績・就職実績を基に、4年制になり歯科衛生士としての活躍の場が今後大きく広がってくることなど、積極的に広報をする。

さらに、こども教育学科では新たに中学校教諭一種免許状（理科）の取得が可能になったことを周知すると共に、ALL 常盤で取り組んできた「ときわんクニヅカ」・「ときわんノエスタ」・「ときわんモトロク」等の「KIT」での活動が学生にとってまたとない実践の場、地域への貢献になっていることについても積極的に広報することによって学生の確保を図る。

看護学科通信制課程においては、令和4年4月をもって募集停止となったため、令和5年度は2年次生及び在籍延期生のみとなる。これらすべての学生が円滑に卒業に向けて学習を進められるように教員・職員で連携した学生指導を実施し、廃科の時期を見定めつつも教育の質を落とすことなく学科運営に務めていきたい。

#### ①指定校推薦型選抜において高校の要望を取り入れた入学者確保

鋭意活動中。

<参考>

昨年度実績

医療検査学科 9名、診療放射線学科 23名、口腔保健学科 36名、看護学科 14名、こども教育学科 17名

#### ②高校訪問

本学の教育・研究内容を的確に伝え、本学に対する理解と興味関心を深めることを目的と

した高校訪問延べ数は 250 校（昨年度訪問延べ数：216 校）

### ③オープンキャンパス開催

5 月、6 月、7 月、8 月 2 回、9 月の 6 回開催

生徒の参加者数：1,719 名（昨年度実績：1,473 名）

現在、随時 WEB にての個別相談、来学しての見学ができる旨をホームページにて告知し、多数の相談、見学者が来学。

### ④業者主催入試説明会等

高校内進学ガイダンス、模擬授業などに積極的に参加。

### ⑤看護学科通信制課程

看護学科通信制課程においては、令和 4 年 4 月をもって募集停止となったため、令和 6 年度は在籍延期生のみとなり、本課程の閉科は令和 6 年度以降となった。現在 59 名が在籍しており、これまでも学生が円滑に卒業に向けて学習を進められるように学生指導を実施してきたが、早期に全学生が卒業することができるように、学習の遅れのある学生に対してより丁寧な対応を実施していきたい。

### ⑤入試関係

令和 6 年度入学者選抜試験は以下のとおり。

- ・ 総合型選抜
- ・ 公募推薦型
- ・ 指定校推薦型
- ・ 一般選抜前期
- ・ 一般選抜中期
- ・ 一般選抜後期
- ・ 大学入学共通テスト利用選抜
- ・ 大学入学共通テスト利用選抜 2 次
- ・ 社会人特別選抜
- ・ 外国人留学生特別選抜

## 4. 自己点検・評価への取組

令和 5 年度は「第 I 期中期実行計画」の最終年度にあたるため、下記の取組みを通して 4 年間の中期的サイクルでの点検・評価の体制を確立する。これにより、中期実行計画を軸とした全学的な PDCA サイクルを機能させることを目指す。

- ・ 書面による外部評価の導入を検討し、外部評価を毎年実施する体制を整える。
- ・ 「第 I 期中期実行計画」終了時の活動報告書について、その記載内容等を検討し作成を依頼する。

- ・ 書面による外部評価の毎年実施について、評価の対象・方法・様式・依頼文書等について検討し、実施体制を整えた。2023 年度内の実施は見送りとなったが、今後、書面による外部評価を必要に応じ実施できる体制を整えることができた。
- ・ 「第 I 期中期実行計画」の 4 年間を通じた成果報告書の様式等を定め、各組織に提出を依頼し、現在編集途中である。今後は完成した報告書に基づき 4 年間の取り組みについて評価を

行い、改善に繋げてゆく。

「学生による授業評価アンケート」の結果を、より一層授業の改善につなげるために、各教員から学科長に提出している授業評価報告書の在り方について、ティーチング・ポートフォリオの導入も視野に入れて検討する。

- ・個人年間活動報告書、授業評価報告書を統合したティーチング・ポートフォリオを作成し、エビデンスを踏まえた教育活動の省察ができるようにした。これにより全専任教員が、「3つのポリシーに基づいて教育の理念を明確化する」、「授業評価のエビデンスをもとに授業の改善を図る」、「準正課や正課外の教育活動を明確化する」などの効果が期待できる。ティーチング・ポートフォリオの導入にあたっては、SD委員会と連携し、理念や記入要領について動画を作成して研修（オンデマンド）を実施した。

3年に一度実施している「就職先アンケート」について、その実施サイクル、実施方法等を再検討する。

- ・「就職先アンケート」については毎年実施することとなり、2023年度は医療検査学科、看護学科、口腔保健学科で実施した。これにより、学科ごとのカリキュラム改正等に合わせたタイミングで「就職先アンケート」を実施することが可能となり、今後は2024年度に診療放射線学科、2025年度にこども教育学科で実施する予定である。

## 5. 国際交流関係事業の推進

国内外の新型コロナウイルス感染症の感染状況を総合的に判断し、実現可能な国際交流事業を次のとおり行う。

- ・ネパール交換研修生の派遣を約1週間の期間で実施する。派遣が困難な場合は、オンラインセミナーを実施する。
- ・大学コンソーシアムひょうご神戸に海外学生派遣プログラムとして「国際保健医療活動Ⅱ（ネパール、米国）」を開放する。実施時期の変更でも派遣が困難な場合は中止とする。
- ・基盤教育分野の「国際理解」を開講し、国際交流に対する学生のすそ野を広げる。
- ・地域での国際交流活動の促進を図るべく、アスタくにつか1番館の神戸国際コミュニティセンター（KICC）との連携を深める。

### ①ネパール交換研修生派遣

令和元年の受入以降、実施を見送っていた交換研修について、12月21日～12月28日の日程で研修生の派遣を実施した。

派遣学生：7名（M科2名、R科1名、N科2名、E科2名）

### ②「国際保健医療活動Ⅱ」の海外研修（ネパール、米国）

診療放射線学科のタイコース（6月10日～6月18日）、医療検査学科の米国コース（9月

8日～9月18日)、口腔保健学科の米国コース(9月3日～9月8日)を実施した。

※大学コンソーシアムひょうご神戸への開放は医療検査学科のみ

派遣学生：R科4名、M科3名、O科12名

### ③基盤教育分野「国際理解」の開講

前期後半に8回(15時間)の授業を行った。

履修者：60名(R科16名、N科16名、O科7名、E科21名)

### ④KICCとの連携

③にゲストスピーカーとして参加していただき、学生企画へのコメントをいただくなど学生のKICCでの活動を推進した。

### ⑤異文化体験プログラムの実施

7月19日に【異文化体験プログラム：インド編(ヨガ講座)】を実施した。

参加学生：11名(N科10名、E科1名)

11月30日に【ネパール語勉強会】を実施した。

参加学生：7名(M科2名、R科1名、N科2名、E科2名)、神戸常盤女子高生1名

「国際理解」の授業で、イベント企画運営を行う学生を募り、3月19日に【国際クッキング(お好み焼き作り)】を実施した。

参加学生：8名(R科2名、N科1名、E科5名)

## 6. 競争的資金の獲得

コロナ禍で得た様々な知見やデジタルトランスフォーメーションの進展を意識しながら、本学独自の教育・研究を発展させ大学改革および教育研究環境の充実を図る。また、教育研究開発推進センターを中心とし学内の研究基盤整備を推進することにより、科研費等の採択率向上も目指す。

### ①科学研究費助成事業

研究代表者分

昨年度からの継続分が27件、今年度新規分3件、合計30件が採択。

〔獲得金額〕直接経費：13,587,797円、間接経費：2,565,000円

### ②AMED(日本医療研究開発機構)

研究代表者分

今年度新規分1件が採択。

〔獲得金額〕直接経費：90,280,000円、間接経費：27,084,000円

### ③私学事業団

女性研究者奨励金

400,000円(直接経費のみ)

### ④奨学寄附金

Dアミノ酸ラボ

330,000円(直接経費300,000円、間接経費30,000円)

生体防御奨学金

750,429円(直接経費675,387円、間接経費75,042円)

#### ④神戸常盤学術フォーラム

12月25日に対面で開催。口頭発表3件、ポスター発表16件を行った。

### 7. 大学間連携事業の推進

国内外の新型コロナウイルス感染症の感染状況次第ではあるが、大学コンソーシアムひょうご神戸に海外学生派遣プログラム<フィールドワーク型プログラム>を開放し、中心的な役割を担う。また、単位互換事業にも本プログラムを開放する。

「国際保健医療活動Ⅱ」の海外研修（ネパール、米国）医療検査学科の米国コースのみを開放したが、他大学からの参加者はなかった。

### 8. 産学連携事業の推進

神戸常盤大学医科学研究所 神戸常盤大学 PCR 検査センターと(株)ユニバーサル・バイオサンプリングとの共同研究「UBiSS CardからのDirect (RT)-PCRを可能にする検体処理液、real time (RT)-PCR反応液などの試薬や使用条件などの開発を通しての遺伝子検出システムの構築」が円滑に実施できるよう支援を行う。

特願2023-024289にて申請した特許（名称：放射線検出器）の実用化（技術移転）を目指し、積極的に学外への周知活動を行う。

- ① (株)ユニバーサル・バイオサンプリングとの共同研究  
(株)ユニバーサル・バイオサンプリングの業績不振により研究費が納入されず、十分な支援を行うことができなかった。
- ②特願2023-024289にて申請した特許（名称：放射線検出器）が登録された（登録日：令和5年6月28日）

## IV. 神戸常盤女子高等学校

### 1. 中期計画の策定

建学の精神のもと紡いできた教育を基礎に、社会の変化に対応する教育活動を推進するために以下の柱を定め、事業計画を立案する

- (1) 個々に最適な学びと協働的な学びの創造
- (2) 大学や企業・地域の力を活用した魅力ある学校・教育づくり
- (3) 特別な指導や支援が必要な生徒への組織的対応
- (4) 教職員の持続的な成長を支える組織や文化の形成
- (5) 働き方改革の実効性を高める環境整備

#### (1) 個々に最適な学びと協働的な学びの創造

- ・個々の生徒の学習課題に対応するため、家庭科、普通科総合コースでは国語、数学の習熟度別学習、英語のチームティーチングを行い学習理解度に合わせた指導、きめ細かい指導を行った。普通科進学コースにおいては、科目別選択授業を設置し進路に合った学習を行った。
- ・放課後、自主的な学習に取り組む生徒や外国語を母語とする生徒を支援するため、神戸常盤大学の協力のもと、学園チューター制度を導入。同時に、R6年度9月から開始する放課後学習支援システムのプロジェクトチームを立ち上げた。
- ・総合的な探究の時間、学校設定科目、学校行事等において協働的な学びを追求する取り組みが行われた。

#### (2) 大学や企業・地域の力を活用した魅力ある学校・教育づくり

- ・神戸常盤大学をはじめとする大学・専門学校、行政、地域、企業、NPOの力の協力のもとさまざまな教育活動が展開され一定の成果をあげた。

#### (3) 特別な指導や支援が必要な生徒への組織的対応

- ・各学級からの月例報告をもとに情報の共有をはかり、個々の生徒への対応を協議しながら指導・支援を行った。
- ・近年、顕著な非行行動はみられないが、SNSをきっかけにした友人とのトラブル事案や不登校による中途退学が増加傾向にある。一層のきめ細やかな組織的対応が求められる。

#### (4) 教職員の持続的な成長を支える組織や文化の形成

- ・学校安全、危機管理、学校経営に関わる研修を実施した。また、ICT機器の整備にともないその活用方法など適宜講習を実施した。
- ・個々の授業力向上のための研究授業・公開授業の実施を各教科に課した。総合的な探究の時間や学校設定科目などの授業では教員間で授業参観や意見交換も積極的に行われているが、より一層の充実をはかることが求められている。

#### (5) 働き方改革の実効性を高める環境整備

- ・議論を重ね勤務制度の改革をおこなった。労働時間の範囲を明確化するとともに年単位の变形労働時間制度を導入することで労使合意がなされた。同時に導入された勤務制度の実効性を高めるための環境整備についての議論がはじまっている。

## 2. 教育課程

### (1) 教科指導

- ①変化の激しい現在社会において、読み・書き・計算という基礎的な能力とともに、「思考力」や「実践力」といった能力（21世紀型学力）の育成をはかる。
- ②ICT機器を活用した効果的な学びをすすめるとともに、学校文化が内包している協働的な学びを組み合わせた教科指導を展開する。
- ③異なる歴史・文化・社会を背景にもつ多様な人々と共生する社会を構築していくための力を養う。

上記の①～③の目標を達成するため、「総合的な探究の時間」や「学校設定科目」において以下の取り組みを実施した。

#### 【家庭科】

##### [調理製菓コース]

- >和菓子入門教室（2年調理）6/17  
講師：安達文輝（ものづくりマイスター/芦屋川柳川堂玉川）  
川本太郎（甘栄堂菓子舗）
- >調理製菓特別授業（3年）9/5  
講師：神戸国際調理製菓専門学校
- >調理製菓特別授業（2年）9/6  
講師：神戸国際調理製菓専門学校

##### [服飾コース]

- >ウォーキング講習（2・3年）9/7
- ・その他
  - >家庭科特別授業（2年）6/28  
ユニクロ“服のカプロジェクト”
  - >家庭科特別授業（希望者）計6回  
色彩検定講習
  - >家庭科特別授業（おせち料理/万博弁当）計8回  
講師：大阪調理製菓専門学校
  - >神戸タータン協議会に加入  
1年被服製作の授業で「神戸タータン」柄の生地を使用したキャミソールを製作
  - >ドローイング講習 1/12  
神戸ファッション専門学校
  - >針供養（兵庫区・厳島神社）2/8
  - >神戸タータンまつり 2/25  
神戸ロフトにてワークショップ

#### 【普通科】

##### [総合コース]

- >進路講演会（1年）4/26  
テーマ「就職・進学することの目的意識・高校生活の過ごし方」  
「進学してできること,体験できる世界」  
「早期就職して広がる世界,早期就職することの意味,意義」

講師：澤田恭子（進路アドバイザー）

>外部講師による講義（1年）5/17

テーマ「神戸のおいしい食材の魅力」 講師：神戸市市役所職員  
神戸の農漁業、「食都 神戸」の推進

>発明工作授業(1年)6/7

課題「ペーパータワー」 講師：立川伸子, 中村忠則（日本弁理士会関西会）

[キャリアコース]

>夏野菜の栽培（4月～7月）

>校外学習（1年）

ドンキーバレー（神戸市北区）

>校外学習（2年）

淡路鳴門オレンジ農家圃場・北淡路農業改良普及センター（淡路市志筑）

[進学コース]

>外部講師による講義とグループワーク（2年）6/6, 6/21

テーマ「将来の働き方を考える」 講師：兵庫県企画部

>外部講師による授業（2年）4/27, 5/12, 5/19

テーマ「プロから学ぶ」 講師：専門学校講師（各種5校）

>外部講師による講演会

テーマ「あなたにぴったりの仕事は？」 講師：川合宏之（流通科学大学）

[大学特進文系コース]

>ネパールオンライン交流（1年）6/9, 9/22

それぞれの国の生徒が、自国の自然・文化・生活様式等を紹介

>外部講師による講演（2年）4/24 \*オンラインによる

テーマ「アムネスティの活動・難民支援事業・異文化共生」

講師：シムカート・ビョルン（アムネスティジャパン職員）

>外部講師による講演（2年）5/26 \*オンラインによる

テーマ「フェアトレードについて」

講師：上田夏美（フェアトレードのセレクトショップ Love&sense 元社員）

>校外学習（2年）

NPO アジア女性自立プロジェクト訪問（長田区・たかとりコミュニティセンター）

>フェアトレード商品販売活動（2年）

オープンスクールにて販売(7月, 9月)

健康ふれあいフェスタにて販売（10月）

>校外学習（1年）11/17

華僑歴史博物館訪問

>ひょうごラテンコミュニティ訪問（1年）

[大学特進こども教育コース]

>壁面アート制作（1年）

>ペーパーサートの制作と実演(2年)

>ミュージカル取り組み(3年)

>子育て支援センターKIT ツアー（1年, 2年）10/6, 10/13

>KIT 訪問 ペーパーサート上演 11/12

> ミキハウスプレマムプレパパセミナー (2年, 3年)

> ときわ幼稚園見学実習(1年)1/25

> ときわ幼稚園見学実習(2年)1/28

[大学特進看護医療コース]

> 医療講演・体験 (2年)

臨床工学士、視能訓練士 6/21, 6/28

義肢装具士、鍼灸師 9/27, 10/4, 10/11

言語聴覚士 10/25

救急救命士 11/8

> 医療講演・体験 (1年)

妊婦体験 11/2

車椅子体験 11/8

## (2) 特別活動

- ①学校行事を通じて他者とのコミュニケーションを図りながら協働的に問題を解決する資質や能力を育むことをめざす。
- ②学校行事において生徒が獲得すべき達成目標と指導者の教育目標を明確にしつつ、充実した内容になるよう立案する。
- ③地域のコミュニティ、団体、企業等の参画を得て生徒の人格の形成をはかるとともに地域づくりに学校・生徒が寄与する取り組みを追求する。

上記の①～③の目標を念頭におきながら以下の取り組みを実施した。

### 【学校行事】

- ・入学式 4/10
- ・オリエンテーション合宿 (1年) 4/16～18  
岡山・蒜山高原
- ・校内陸上競技大会 5/15  
王子陸上競技場
- ・性教育 (1年) 6/22  
県立総合衛生学院
- ・修学旅行(3年) 6/23  
北海道 (道西～道央)
- ・防災避難訓練 9/8
- ・福祉教育活動 (3年) 11/15
- ・芸術鑑賞会 11/28
- ・震災追悼式 1/17
- ・学年別球技大会 1/18, 2/1, 2/2
- ・第75回卒業証書授与式 2/22

### 【生徒会行事】

- ・対面式 4/11
- ・部活動紹介 4/12

- ・高校総体壮行会 4/28
- ・生徒総会 5/26
- ・風紀委員会挨拶運動 6/8～12
- ・文化祭 9/30・10/1
- ・生徒会選挙  
会長候補立会演説会/投票 11/6  
副会長候補立会演説会/投票 11/14 (11/15)
- ・予餞会 2/16

【地域交流・ボランティア関連行事】

- ・LOVE49 キャンペーン in KOBE 4/9  
コーラス部, 吹奏楽部が参加
- ・イオンモール神戸南 書道パフォーマンス 4/22  
書道部が参加
- ・花水木まつり (長田区) 4/29  
吹奏楽部, ボランティア部が参加
- ・神戸まつり (ながたっ子まつり) 5/27  
こども教育コース (2, 3年), 美術部、家庭科研究部
- ・ウクライナ避難民支援活動  
「モタンカ人形づくりを通じた国際文化交流」 6/10  
ボランティア部 13名、家庭科有志生徒 4名、神戸常盤大学学生 2名、ウクライナ人 3名、通訳学生 (神戸市立外大) 3名が交流
- ・須磨海岸マナーアップキャンペーン  
弓道部が参加
- ・神戸常盤大学子育て支援センター (3ヶ所) 訪問 6/19  
淡路鳴門オレンジクッキープレゼント 家庭科研究部
- ・TVC 夏のボランティア 7/17～8/29  
14カ所、参加延べ人数 38名
- ・ふくしま合宿チーム兵庫 8/22～24  
生徒会有志 (3名) が参加
- ・神戸市社会福祉協議会ワークキャンプ 7/31～8/2  
市内 30カ所の社会福祉施設、32名が参加
- ・長田区音楽のつどい 8/27  
吹奏楽部が参加
- ・「ゲー」なまち ながたカレンダー2024 写真撮影ボランティア  
ボランティア部が参加
- ・ぼうさいこくたい 2023 (神奈川大会) 9/18  
生徒会有志 (1名) が参加
- ・文化祭における取り組み  
  - ＞フェリシモハッピートイズプロジェクト (家庭科)
  - ＞小規模作業所模擬店 (ボランティア部)
  - ＞ウクライナ平和文化交流 (ボランティア部)
  - ＞フェアトレード商品の委託販売 (2年文系コース)

- >淡路島関連商品販売（2年キャリアコース）
- >ユニクロ”服のカプロジェクト”（家庭科）
- >フードドライブ（ボランティア部）
- >「福島とわたしたち そして地元へ」（生徒会有志）
- >FOP 募金（吹奏楽部）
- ・あすばユース震災語り部隊（生徒会有志）
- ・神戸マラソンボランティア（ボランティア部）
- ・能登半島地震街頭募金（ボランティア部） 1/12
- ・「1.17KOBEに灯りを in ながた」ボランティア（有志生徒 94名） 1/17
- ・ひょうご安全の日のつどい参加（あすばユース有志） 1/17
- ・ときわ病院へ車椅子アームカバーを寄贈（2年家庭科服飾コース） 3/12

### （3）教育課程の検証

- ①学習指導要領の改訂をうけて立案した新教育課程を検証し、一層の強化・拡充を図る。
- ②修学旅行先の検証を行う。

#### ①英語科

家庭科（3年）「論理・表現Ⅰ」を「英語総合」に変更（R6年から）

#### ②修学旅行

- ・新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことをうけ、シンガポール修学旅行の再開を検討したが、為替相場の変動並びに物価上昇により旅費が高騰（約1.5倍）するという問題が生じた。従って、現2年生は北海道（3年次6月）、現1年生は沖縄（2年次1月）に決定。
- ・海外修学旅行の検討のためフィリピン（セブ島）を現地視察 8/1～8/5

## 3. 進路指導

### （1）進路指導体制の充実

- ①IRを活用した分析を基に効果的な進路指導を実施する。
- ②多様な受験に対応するための情報収集と進学先・就職先の拡充を図る。

#### ①令和5年度進路状況（4/1現在）

- ・就職 13.0%、進学 81.6%、計 94.6%の生徒が進路を決定（前年比－2.8ポイント）
- ・進学は看護分野へ 38名、医療分野（薬学・検査・リハビリ・歯科衛生）へ 24名、教育系分野へ 28名が進学した。
- ・兵庫県立大学看護学科・神戸市看護大学・神戸薬科大学・兵庫医科大（看護学部）、大和大学（保健医療学部）、川崎市立看護大学への合格も果たした。また、進学コースから看護系で6名が合格した。
- ・その他、近畿大学（法学部）・甲南大学（法学部）・神戸女学院（心理学部）関西外国語大学や就職では神戸市職員（公務員）へも合格を果たした。

②進学先の拡充（今年度指定校の推薦枠が増えた主な学校）

学校名	学部・学科	指定校 推薦枠	増減
関西看護医療大学		10	+5
甲南女子大学	国際	3	+1
	文		
	理学療法		
	医療栄養		
神戸学院大学	人文	1	+1（新規）
	作業療法	1	+1（新規）
兵庫大学	看護	2	+1
大阪人間科学大学	社会創造	1	+1（新規）
	理学療法	2	+2（新規）
大阪行岡医療大学	理学療法	2	+2（新規）
大手前短大	医療事務	3	+1
神戸総合医療専門学校	放射線	3	+1
	臨床工学	3	+2
	視能訓練	3	+2
	理学療法	3	+2
	作業療法	3	+2
	歯科衛生	3	+2
神戸国際調理製菓専門学校		7	+1

**（２）個々のニーズに対応した学習支援**

- ①夏期講習・冬期講習、土曜講習の実施
- ②学習合宿の実施
- ③ピアノ個人レッスン
- ④介護初任者研修
- ⑤小論文・共通テスト対策指導
- ⑥チューター制による自習室の開設
- ⑦外国語を母語とする生徒の支援
- ⑧各種検定試験・資格取得の支援
- ⑨就職・社会人セミナーの実施
- ⑩その他

- ①夏期講習 7/24～28, 8/22～28  
土曜講習 6/17, 6/24, 9/16, 9/23, 10/7, 11/11, 11/18, 11/25  
冬期講習 11/23～25  
春期講習 3/27, 3/28
- ②学習合宿（1・2EUN）8/22～24

須磨・寿楼 149名が参加

③ピアノ個人レッスン

21名が受講

④介護初任者研修 7/15～10/15

15名が受講し資格取得

⑤国公立大学を目指す生徒に対する放課後の学習支援等

⑥学園チューター制開始 6/5～ 計12回

11名の学生（神戸常盤大学）が協力

利用生徒が延べ45名

⑦外国語を母語とする生徒の支援 6/5～

学級担任や教科担任による支援に加えて、神戸常盤大学こども教育学科の学生1名の協力を得て、放課後の学習支援に取り組んでいる。

⑧各種検定試験

- ・英語検定 5/26, 10/6, 1/15
- ・サービス接遇検定 6/11, 2/3
- ・食物調理検定 6/12
- ・硬筆検定 6/16, 11/10, 1/26
- ・秘書検定 6/16
- ・漢字検定 6/18, 2/17
- ・ビジネス文書実務検定 7/2, 11/26

⑨就職セミナー

[就職セミナー] 計16回

[社会人準備講座] 計10回

⑩その他

- ・ふれあい看護体験 8/3～8/22

14の病院で延べ24名が参加

## 4. 生徒指導

### (1) 特別支援

発達障害、不登校、DV、ネグレクト、ヤングケアラーなど、さまざまな課題をもった生徒への組織的支援を行う。

子ども家庭センター、県教育課、神戸常盤大学 SC との連携をはかりながら対応。

神戸常盤大学 SC 利用 3名の生徒が延べ20回利用。

### (2) 危機管理

危機管理マニュアルの更新を図るとともに、学校安全計画を立案して安全管理と安全教育を推進する。

令和5年度学校安全計画に基づく取り組み経過

4月

- ・施設設備の安全点検
- ・危機管理マニュアルの熟読と救急救命法の動画視聴
- ・授業における実習、実験の安全指導

5月

- ・ホームルームにおける防災・防犯学習の実施

6月

- ・熱中症の注意喚起（～10月）
- ・食中毒注意喚起
- ・情報モラル教育の実施
- ・修学旅行の安全指導

7、8月

- ・夏休みの生活と安全指導
- ・合宿・遠征の安全点検

9月

- ・防災避難訓練の実施（9/8）
- ・緊急地震速報訓練（11/2）

### **（3）人権教育・消費者教育・主権者教育の推進**

ネット犯罪、いじめ、薬物乱用防止、性教育等に対応した講習会を企画・立案する。

- ・県立総合衛生学院の学生による性教育授業(1年)。 6/22, 6/28
- ・家庭科、保健体育科の授業やLHRを通じて、人権教育・消費者教育、薬物乱用防止啓発授業を実施。
- ・情報科の授業において情報モラル教育を実施。

### **（4）主権者教育の推進**

- ・社会科（公民）の授業を通じて主権者としての意識向上をはかる。
- ・「税に関する高校生の作文」に第2学年の生徒が取り組む

### **（5）制服の見直し**

学用品審議委員会、生徒会を中心に制服の令和7年導入をめざす。

- ・学用品審議委員会 5/23  
制服改訂（R7年度）までのスケジュールを決定。
  - ・制服業者4社（明石, 瀧本, トンボ, 菅公）によるプレゼンテーションを実施（10/17）  
（株）明石スクールカンパニーを採用 R7年度導入予定

## (6) 生徒会活動の一層の強化

### 【部活動成績】

#### [バレーボール部]

- ・神戸市内高等学校春季リーグ戦 優勝
- ・神戸市内高等学校春季優勝大会 優勝 優秀選手賞 (村上)
- ・兵庫県高等学校総合体育大会 準優勝 優秀選手賞 (新田, 田中)
- ・近畿高等学校優勝大会 第5位
- ・兵庫県私立高等学校優勝大会 優勝 優秀選手賞 (新田, 吉永)
- ・兵庫県バレーボール高等学校選手権大会 3位 優秀選手賞 (畑森)
- ・兵庫県バレーボール高等学校新人大会 3位 優秀選手賞 (吉永, 井塚)

#### [ソフトボール部]

- ・兵庫県高等学校総合体育大会 準優勝 優秀選手賞 (山之内, 中林, 南)
- ・国民体育大会近畿大会 (山之内, 中林) 準優勝
- ・国民体育大会 (山之内, 中林) 3位
- ・兵庫県高等学校新人大会 3位 優秀選手 (和田, 内田)
- ・全国私立高等学校選抜大会 ベスト16

#### [ソフトテニス]

- ・兵庫県私立高等学校選手権 学校対抗 第5位

#### [卓球部]

- ・神戸市民体育大会学校対抗 学校対抗 第3位
- // シングルス 第3位 (村田あ)
- // ダブルス 第3位 (迫田, 村田あ)
- ・兵庫県高等学校総合体育大会 学校対抗 ベスト16
- ・神戸市新人大会 学校対抗 第3位
- // シングルス 第3位 (村田あ)
- // ダブルス 第3位 (村田あ, 清水)

#### [弓道部]

- ・神戸市民大会 個人 第3位 (境)
- ・兵庫県高等学校総合体育大会 個人 第7位 (境)
- ・神戸支部秋季弓道大会 団体近的 第3位 (境, 小林, 中野)
- // 個人近的 優勝 (小林)
- // 団体遠的 第3位 (境, 小林, 中野)
- ・兵庫県高等学校新人大会 個人遠的 第3位 (小林)
- // 個人近的 優勝 (中野)

#### [バトントワーリング部]

- ・関西バトントワーリングコンテスト 中級スリーバトン 金賞 (三木)
- // 中級ソロトワール 金賞 (寺光, 坂根)
- // 初級スルーバトン 金賞 (向井)
- ・バトントワーリング神戸大会 中級ソロトワール 金賞 (三木)
- // 初級ダンストワール 金賞 (仲, 藤尾)

〃	入門ソロトワール 金賞 (山下, 柳尾, 中村)
・バトントワーリング兵庫県大会	第3位
・バトントワーリング関西大会	学校部門優秀賞
・関西中学校・高等学校大会	金賞
・兵庫県スポーツバトンコンテスト	中級ダンストワール金賞 (猪口, 藤尾)
〃	初級ダンストワール金賞 (寺光)
<b>[フットサル部]</b>	
・クーバー神戸レディース大会 (4, 8月)	優勝
・兵庫県U-18女子フットサルリーグ	優勝
・兵庫県女子フットサル大会	第3位
・兵庫県U-18女子選抜選手	仲林, 河月, 津川
<b>[硬式テニス部]</b>	
・兵庫県ウインタージュニア選手権	シングルス ベスト16 (川口)
・兵庫県夏季ジュニア選手権	ダブルス ベスト32 (川口, 藪田)
・兵庫県スプリングトーナメント	シングルス 優勝
〃	シングルス ベスト8
<b>[演劇部]</b>	
・神戸市高等学校演劇発表会	最優秀賞
・兵庫県高等学校総合文化祭	最優秀賞
・近畿高等学校演劇研究大会	優秀賞 (全国大会推薦)
・春季全国高等学校演劇研究大会	出演
<b>[書道部]</b>	
・兵庫県高等学校総合文化祭	特選 (田中)
・兵庫私学総連合会書道展	特選 (野間)
・国際高校生選抜書展	入選 (田中, 野間)
・高円宮杯日本武道館書写書道大展示覧会	日本武道館賞 (玉井)
	特選 (明石, 廣田, 濱野, 米田)
	金賞 (清水, 崎久保, 江口, 熊橋)
・全日本書初め大展示覧会	日本武道館賞 (崎久保)
	特選 (江口, 櫻井, 田井, 玉井)
<b>[華道部]</b>	
・小笠原流学生いけばな競技会近畿大会	準優秀賞 (尾形)
<b>[吹奏楽部]</b>	
・JBA 中学・高校生管打楽器ソロコンテスト	金賞 (大西)
・第7回定期演奏会	
・兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会	銀賞
<b>[ギター部]</b>	
・全国高校軽音楽部大会関西地区予選会	出演
<b>[茶道部]</b>	
・第二学校茶道合同茶会参加	
<b>[放送部]</b>	
・NHK杯高校放送コンテスト兵庫地区大会準決勝	入選 (新家)

- ・兵庫県高等学校総合文化祭決勝 奨励賞（新家）

#### 【ボランティア部】

- ・高校生ともしびボランティア顕彰 受賞
- ・その他、2教育課程 特別活動に記載

#### 【その他】

- ・第26回全国高校生デザイン画コンクール優秀賞（平野）

## 5. 募集対策

### （1）募集活動の強化

- ①女子高校としての魅力ある特色の発信、広報活動の充実化
- ②中学校訪問での科・コース等の特色、常盤奨学金制度、神戸常盤大学との連携、進路の状況等の広報の強化
- ③各中学校での進路講話への参加と中学生の本校訪問の拡大
- ④塾への訪問説明
- ⑤中学生保護者、中学教員を意識した広報活動の展開

### 【メディアを活用した広報】

- ・Kiss FM 神戸（オープンスクール宣伝・放送部）
- ・Kiss FM 神戸（Kiss Music PRESENTER 出演・生徒：芝/若松）
- ・サンテレビ（キャッチプラス出演・演劇部）
- ・サンテレビ（受験ナビ出演）
- ・ABC ラジオ（土曜日やんなあ オープンスクール生中継・生徒：芝、職員：柿川）
- ・生活エリアマガジン（垂水・須磨・西区・明石）4・6・8・10月号に掲載
- ・須磨パティオにて家庭科作品（ドレス展示）J:COM 放映

### 【学校説明会】

- ・兵庫私学 小中高校合同説明会（私学フェスティバル）7/30, 8/6, 8/19, 8/20
- ・中高合同説明会

### 【進路講演会・進路相談会】

- ・中学校、団体からの要請で進路講演会・進路相談会に参加

[進路講演会] 稲美, 垂水東, 上野, 星陵台, 魚住東, 西神, 桜の宮, 烏帽子, 生田, 高丘, 朝霧, 白川台, 須佐野, 須磨北, 西落合, 有野北, 鷹取, 氷丘, 両荘, 筒井台, 有馬, 樋谷, 王塚台, 唐櫃, 横尾, 岩岡, 湊翔楠, 福田, 高倉, 玉津, 鷹匠, 伊川谷, 神吉, 望海, 友が丘, 大池, 小部, 高取台, 吉田, 雲雀丘

[進路相談会] 神戸市, 明石市, 加古川市, 須磨区, 伊丹市, 尼崎市, 西宮市, 加印地区, 淡路市

### 【中学・塾訪問】

[中学校訪問] 年4～5回（進路講演会を除く）, 県内の中学 223校を訪問

[学習塾訪問] 473校にアプローチ（文書案内含む）

[塾説明会] 自校開催 17校参加 9/7

## (2) オープンスクールの内容の検討

- ・生徒募集企画会議（新設）を中心に、以下のコンセプトのもとで、オープンスクールを実施した。
  - ①来場者（中学生）に活気ある高校生活を予感させる楽しい企画
  - ②生き生きと活動する本校生を前面に押し出す
  - ③将来のキャリアをイメージしてもらえそうな仕掛け（卒業生の協力）
  - ④10月からはじまる見学会につながる仕掛け
- ・オープンスクールにスタッフとして参加した本校生は、第1回目（7/29）延べ333名、第2回目（9/2）延べ319名となった。卒業生は延べ12名の協力があつた。  
来場者は、第1回目が616名（中学生317名・保護者299名）、第2回目が569名（中学生292名・保護者277名）であつた。
- ・来場者アンケートには、高校生・卒業生の対応を称賛する記述回答が多く寄せられた。

## (3) 学校説明会・入試説明会の効果的な内容の検討

10月～12月に8回の学校見学会と2回の特別体験Dayを実施。

### ●学校見学会&入試説明会

日程	①			②			③			合計		
	中学生	保護者	計									
10/21(土)	16	15	31	9	8	17	3	3	6	28	26	54
10/28(土)	18	22	40	13	13	26	9	7	16	40	42	82
11/18(土)	16	16	32	8	6	14	10	7	17	34	29	63
11/19(日)	14	13	27	13	13	26	4	6	10	31	32	63
11/26(日)	20	21	41	20	24	44	8	7	15	48	52	100
12/2(土)	12	10	22	22	21	43	8	8	16	42	39	81
12/10(日)	16	16	32	14	16	30	7	8	15	37	40	77
12/16(土)	13	9	22	24	10	34	15	10	25	52	29	81
合計	125	122	247	123	111	234	64	56	120	312	289	601

### ●コース体験Day

日程	コース (1日定員)	AM			PM			合計		
		中学生	保護者	計	中学生	保護者	計	中学生	保護者	計
11/3(金)	看護医療(60)	22	19	41	10	11	21	32	30	62
	こども教育(60)	9	8	17	9	8	17	18	16	34
	小計	31	27	58	19	19	38	50	46	96
11/11(土)	調理製菓(64)	17	13	30	9	9	18	26	22	48
	服飾(40)	20	14	34	13	8	21	33	22	55
	小計	37	27	64	22	17	39	59	44	103
合計		68	54	122	41	36	77	109	90	199

●受験者数

科・コース	普通科				家庭科	合計	前年比
	総合	N	E	U			
専願	41	47	25	4	74	191	+23
併願	74	109	50	30	115	378	+49
合計	115	156	75	34	189	569	+72

●入学者数

科・コース	普通科				家庭科	合計	前年比
	総合	N	E	U			
入学	54	55	30	4	86	229	+29

**(4) ホームページの継続した更新と内容の検討**

公式インスタグラムの活用を開始。

**(5) 募集関係パンフレット、広告等の検討**

・ときワンDM（新規）

本校のオープンスクールや学校見学会に参加した中学生の気持ちをつなぎ止め、本校受験に導くための工夫として、「ときワンDM」を作成し、中学生宅に郵送。（新規）

**(6) 広報紙「ときわ」の作成・配布**

- ・神戸タータン地をベースに、写真やイラストをふんだんに使用したデザインに変更。オープンスクールで配布した。

**(7) 本校の魅力ある教育活動、在校生・卒業生の活動の発信**

- ・平岡南中学・両荘中学で公開授業（家庭科、こども教育コース）
  - \*こども教育コースの生徒も実演参加
  - ・神戸市立中学家庭科教員研修会に会場提供 \*本校教員も参加
  - \*（1）（2）（4）（5）（6）に関連事項を記載。

**6. 高大連携（学園内交流）強化**

**(1) 高大連携協議会を設置し、教育活動における連携を維持・発展させる。**

- ・歯科検診（神戸常盤大学口腔保健学科）の協力を得て実施。4/17, 18, 25
- ・神戸常盤大学見学会[全体会・分科会]（3進, E, U, N）5/22
- ・神戸常盤大学見学会（3年希望者, 2E）5/25
- ・看護学科見学（2N）6/13

- ・診療放射線学科体験授業(1N) 6/23
- ・医療検査学科体験授業 (1N) 6/29
- ・保健学科体験授業 (2進, U, N) 9/4
- ・こども教育学科音楽体験授業 (2E, 1E, U)
- ・文化祭における保健委員会の取り組み(「歯の健康」に関する展示) 9/30  
口腔保健学科、(株)太陽因子協力の協力を得て実施
- ・教育実習生の受け入れ(神戸常盤大学 保健科学部看護学科 柳生滯音)
- ・口腔保健学科実習の受け入れ(神戸常盤大学 保健学部口腔保健学科) 11/16
- ・看護学科見学実習 (1N) 12/13
- ・ときわ病院見学実習 (2N) 12/20, 12/21
- ・大学体験授業 (2E) 2/8
- ・大学体験授業 (1E)

**(2) 地域交流センター、ボランティアセンター、国際交流センターとの連携を図り、地域学校協働活動を展開する。**

- ・地域防災安全協会総会  
校長が参加 5/24
- ・長田フェスティバル  
ⅡⅢE, 美術部, 家庭科研究部の生徒, 教員 4 名が参加 5/27
- ・国際交流センター異文化体験プログラム(インド編)  
本校教員 2 名が参加
- ・淡路市との包括連携協定事業(継続)  
トキワアクト「淡路鳴門オレンジ復活プロジェクト」
- ・株式会社トキワとの包括連携協定(新規)  
調印式に本校教員も同校 4 名 8/30
- ・小豆島合宿 8/17~19  
生徒 5 名と教員 1 名が参加
- ・TVC 夏のボランティア  
14 カ所、参加延べ人数 38 名(再掲)
- ・健康ふれあいフェスタ 10/8  
生徒 93 名、教職員 13 名が参加
- ・ネパール交換留学生派遣 12/21~28
- ・高校生鉄人化まつりに参加 3/23  
バトン部が参加

**(3) 高大入試協議会を通じて、大学との連携を図る。**

<公募推薦型選抜受験生>

- 医療検査学科 2 名
- 診療放射線学科 3 名
- 看護学科 15 名

口腔保健学科 7 名  
こども教育学科 16 名

#### **(4) IR 室との連携を図る。**

高校の教育活動における IR 室の活用方法について検討することが求められている。令和 5 年度には実現できなかったが、令和 6 年度には具体的な検討に入り、令和 7 年度の運用を目指す。

## **7. 職員研修**

### **(1) 教職員研修**

- ①危機管理（防災・防犯・救急救命法等）。
- ②人権教育（発達障害を持つ生徒への合理的配慮等）。
- ③ハラスメント等。

- ・ 講演「防災・減災」（事前の備えと災害時の対応 講師：室崎友輔（神戸常盤大学）
- ・ 教育職員資質向上のための研修  
    動画研修（文部科学省）
- ・ ハラスメント研修会  
    講師：芝山慶太（弁護士・SOLA 法律事務所）
- ・ 探究情報教育体験・研修会  
    1 名参加
- ・ 人権教育研修会  
    1 名参加（学年副主任）
- ・ 学校改革に関する講演会  
    講師：中島孝太（株式会社 scholas 代表）
- ・ 進路指導学習会  
    講師：北川敏史（未来の学びラボ 代表）

### **(2) 教科内研修**

- ①教科の研究授業。
- ②ICT 教育の推進。

#### ①研究授業

- ・ 授業向上委員会でプランを検討

#### ②ICT 教育の推進

- ・ 全教室プロジェクター設置完了
- ・ レンタル期間を終えた教員用 PC の入れ替え完了
- ・ Classi 研修会を実施

### **(3) 生徒指導研修の実施**

- ①学級経営
- ②生活指導

#### **①私学連合会主催の研修会に参加**

- ・教頭研修 6/30、11/17  
講演「学校リスクマネジメントと危機発生時の実務対応」  
研修「淡路島 パソナグループ教育活動 視察」
- ・新任研新任新任 7/6  
講義「私学の教員とは」  
演習「生徒を元気にする面談の技術」  
新任教員1名が参加
- ・中堅教員研修会 8/4  
講義「“その人らしさ”はどこから生まれ、どこへ向かうのか」  
演習「生徒や保護者“揺らぎ”に寄り添う支援」  
中堅教員1名が参加
- ・管理職研修  
講演「特別支援教育の理解と学校組織マネジメント」

#### **②学内研修**

- ・他のテーマで研修を行ったため、生活指導研修は実施せず。

## **8. その他**

### **(1)「業務改善」「意識改革」「制度改革」を行い、令和5年度完成をめざす。**

「働き方改革」に向けた協議

4月～7月：「出退勤調査」、「労働実態調査」、「ヒアリング調査」を実施し、「働き方改革」の検討事項を整理。

8月：具体的な制度の方向性（変形労働時間制）を教職員に説明。

9月：業務改善を見通した具体的な勤務制度案を作成作業に入る。

10月：労働者代表の決定。

12月：安全衛生委員会。

1月：勤務制度案、提示・説明。

2月：パブリックコメントの募集と回答。

就業規則改定案の提示・説明。

3月：労使協定の締結。

## (2) 育友会・同窓会（みどり会）

### 【育友会（保護者会）】

- ・ 第1回役員会 5/18
- ・ 育友会総会 5/25
- ・ 三者懇談会（ⅡN, ⅢNEUを除く）6/13～15
- ・ 三者懇談会（Ⅲ就職希望者対象）8/3～7
- ・ 三者懇談会（Ⅲ進学希望者対象）8/22～24
- ・ 第2回役員会
- ・ 文化祭協賛事業 9/30
- ・ 三者懇談会（特進コースを除く）11/7～9
- ・ 三者懇談会（ⅠⅡ特進コース対象）12/25
- ・ 三者懇談会（ⅠNEU対象）3/26

### 【同窓会】

- ・ みどり会役員会 7/8
- ・ みどり会理事会 7/31
- ・ 文化祭協賛事業 9/30
- ・ みどり会総会（神仙閣）10/14
- ・ 看護医療の集い 3/29

## IV. 神戸常盤大学附属ときわ幼稚園

### 1. 教育充実

#### ①教育課程に則った保育充実

教育課程に沿った保育計画と実践

「体験を通じた学び・育ち」を見据えた保育の充実

- ・教育課程に沿って、年間カリキュラム、週日案の作成・見直し
- ・子どもたちの育ちに沿った保育を進められるよう保育計画を細やかに立案し、実践するように努めた。

#### ②教員研修の充実

- ・園内研究会・研究保育の実施
- ・令和4年度から実施中のドキュメンテーション研修の継続
- ・園外で実施されている研修への参加

- ・12月15日に研究保育を実施。
- ・ドキュメンテーション（写真を使った保育記録方法）の研修を昨年度に引き続き実施した。職員の保育力の向上に繋がると共に、保護者には子どもの育ちをより具体的に伝えることができた。1年間のまとめを簡易冊子にし大学関係者に配布した。
- ・保育実践や音楽など、園外での研修に参加。

#### ③大学との連携（下記「6 大学との連携」に記載）

詳細は「6 大学との連携」に記載。

### 2. 子育て支援事業の推進

#### ①ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

週3日（月・水・金）開催

2歳児のみ登園 5月より

2学期より在園児と同じ14時まで保育を行い、給食を導入

満3歳児入園希望への対応

- ・5月より週3回実施。年間 91回
- ・2学期より在園児と同じ14時まで保育を行い、給食を導入。
- ・3学期より試験的に預かり保育を実施。主には就労ではなく保護者の都合や兄姉の学校行事の際の利用であったが、保護者からは好評であったため、令和6年度からは子どもに負荷がかからない範囲で時期を早めて実施することを検討している。

## ②こりすクラブ（0～3歳児）

年間 第1火曜日・第3木曜日開催 親子登園（令和4年度までは毎週木曜日の開催だったが、児童館の未就園講座と重複することが多いため、火曜日開催を実施）

- ・対象児は未就園児（0～3歳児）
- ・年間 14回
- ・利用者数 72組（親子）
- ・平均参加人数 5組
- ・夏期休暇中は園庭開放を3回実施。参加親子：延べ13組

## ③育児相談事業

4月～翌年3月（72日） 保護者の要請に対応

兵庫県・神戸市補助対象事業

## ④兵庫県・神戸市補助対象事業

- ・在宅子育て応援事業
- ・親子学級
- ・みんなの幼稚園事業

- ・子育てセミナー  
12月8日 プログラミング教育について  
2月26日 人形劇  
2月28日 小学校ってどんな所？

## ⑤預かり保育事業

年間220日（長期休暇中を含む）

保育終了後～18:00まで

保護者が就労している家庭が増えているため、預かり保育終了時刻を延長。長期休暇中の預かり保育実施日を増加。

- <平日> 保育終了後～18時  
年間157日実施 平均利用幼児数 1日：5名  
<長期休業日> 実施日数35日 平均利用幼児数 1日：4名

## ⑥子育て支援カウンセラー事業の充実

兵庫県補助事業

保護者相談や教員への指導助言を実施

- ・看護学科教員協力のもと、主に支援が必要な子どもへのかかわり方の助言を受けたり、保護者からの依頼があれば相談事業を実施。
  - ・毎月第2金曜に設定。保護者要望があれば別日も実施
  - ・カウンセラー：看護学科 岩越美恵教授

### 3. 園児募集対策

#### ①未就園児保育の充実

こりすクラブ、ちゅうりっぷ組の保育充実を図り入園に繋げる  
夏祭りやクリスマス会など未就園児が参加できる行事への案内

- ・ちゅうりっぷ組・こりすクラブの保育内容充実を図った。
- ・夏まつり、クリスマス会に、こりすクラブ参加親子やときわん3施設の親子を招待し、園の雰囲気を知る機会をもった。

#### ②子育て支援センターとの連携

令和5年度も、月に1回各センターでの定期訪問を継続実施し連携を強化  
夏季休暇中の「幼稚園の先生と遊ぼう」の開催

- ・子育て支援センター「ときわんクニヅカ」「ときわんモトロク」「ときわんノエスタ」に月に一度、園の教諭が各センターを訪問し「幼稚園の先生と遊ぼう」を開催した。事業も2年目になり、本園担当者に入園についての相談があったり、こりすクラブへの参加、入園説明会への参加に繋がったりした。平均して7~8組の親子が参加。
- ・夏期休暇中には入園について説明する時間をとった。

#### ③通園バスの広域運行

2コースの送迎コースで運行。

#### ④特色ある教育の推進

体験を通した育ちをHPやブログ、SNS、園だよりなどで発信  
ドキュメンテーション（写真を利用した保育記録）を活用し、より保護者に分かりやすく保育の発信をする

- ・保育目標「自然とのかかわり」などを活動に入れ、学内ビオトープや裏山のみならず、園外の自然に触れる機会をもっている
- ・ドキュメンテーションについては、1-②に記載

- ・大学の附属幼稚園として、教育学部を中心に各学科の教員・学生とかかわる機会をもっている。大学教員の指導を受けるキッズクラブを6月より開始。音楽、自然、運動など多様な内容を実施予定。

#### 4. 危機管理対策

##### ①園児指導 職員研修（感染対策・防災・防犯・交通安全）

- ・園児指導 職員研修（防災・防犯）  
2月20日 交通安全教室実施

##### ②避難訓練 年3回実施予定

- ・6月13日、11月24日、1月15日避難訓練実施（防災訓練、園児指導、職員研修）

##### ③施設設備の点検と避難経路確保

- ・毎月実施  
6月26日 遊具点検  
8月23日 園門横 桜剪定（樹木内での腐食による事故に繋がらないよう点検）

##### ④通園バス安全装置の設置（兵庫県補助事業）

- ・園児が利用する大学1号バス及びコンピューターにそれぞれ設置（兵庫県補助事業）

#### 5. 大学との連携

##### ①実習生受け入れ

###### <こども教育学科>

- 6月1日～ 2年生 空きコマボランティア受け入れ開始
- 7月4日 2年生 観察実習受け入れ（生活科）
- 9月7日・8日 1年生 観察実習生受け入れ
- 9月12日～15日 2年生 基礎研究演習

###### <看護学科>

- 7月6日 2年生 小児看護学演習

###### <口腔保健学科>

- 6月13日 歯科検診
- 10月13日 歯磨き指導実習

## ②キッズクラブ及び子育てセミナー講師

こども教育学科の教員を中心に、大学教員の協力を得て実施

- ・キッズクラブ講師・こども教育学科
  - 9月12日 「自然で遊ぼう」(笹井准教授)
  - 11月2日、12月7日、2月1日 「哲学しよう」(京極講師)
  - 11月14日 「新聞紙で遊ぼう」(中西教授)
  - 11月20、27日 「体を動かして遊ぼう」(近藤准教授)
  - 12月12日 「万華鏡をつくろう」(田中講師)
  - 1月29日 「ネイチャークラフトをつくろう」(深川講師)
  - 2月9日 「昔遊びを楽しもう」(山田教授)
  - 2月20日 「英語で遊ぼう」 脇本准教授
- ・子育てセミナー講師
  - 12月8日「プログラミング教育について」診療放射線学科関准教授  
こども教育学科田中講師
  - 2月28日「小学校ってどんな所？」こども教育学科松井非常勤講師

## ③発達に関するカウンセリングの継続実施

看護学科教員による保護者対象の発達相談の実施

- ・詳細は2-⑥ 記載

## ④研修講師

- ・こども教育学科 多田琴子元教授

## ⑤新制度園への移行

令和6年4月より新制度園に移行し、運用を開始している。

## V. 財務の概要

### 1. 決算の概要

#### ①貸借対照表関係

##### ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位 百万円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
固定資産	11,478	12,170	12,094	12,151	12,099
流動資産	2,239	2,214	2,601	2,569	2,614
資産の部合計	13,717	14,384	14,695	14,720	14,713
固定負債	1,111	1,642	1,530	1,431	1,331
流動負債	925	845	1,046	1,029	903
負債の部合計	2,037	2,488	2,577	2,460	2,234
基本金	15,849	16,288	16,632	17,003	17,276
繰越収支差額	△ 4,169	△ 4,391	△ 4,514	△ 4,743	△ 4,796
純資産の部合計	11,680	11,897	12,118	12,260	12,480
負債及び純資産の部合計	13,717	14,384	14,695	14,720	14,713

##### イ) 財務比率の経年比較

(比率単位: %)

比率	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	69.5	55.0	59.1	57.3	68.9
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	241.9	262.0	248.6	249.7	289.5
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	14.8	17.3	17.5	16.7	15.2
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	358.0	364.4	397.6	453.4	523.8
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	95.1	92.6	93.2	93.8	94.5
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	48.6	46.8	49.0	47.3	47.2
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	64.1	60.9	61.3	61.1	58.7
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	24.4	24.0	24.7	26.8	26.4
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.5	9.3	8.0	8.8	9.1
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	1.7	6.4	6.1	3.8	5.8
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	72.7	75.4	71.6	74.0	72.2
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	1.6	5.5	5.5	3.0	5.6
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	1.7	5.6	5.7	3.2	5.7

## ②資金収支計算書関係

### ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(百万円)

収入の部	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学生生徒等納付金収入	2,315	2,531	2,608	2,767	2,749
手数料収入	47	47	46	44	43
寄付金収入	19	26	22	25	98
補助金収入	692	712	760	721	722
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	17	15	55	33	33
受取利息・配当金収入	5	6	5	2	4
雑収入	88	50	152	171	161
借入金等収入	0	600	0	0	0
前受金収入	595	577	601	510	463
その他の収入	179	216	454	446	433
資金収入調整勘定	△ 605	△ 682	△ 766	△ 826	△ 659
前年度繰越支払資金	2,592	2,133	2,105	2,391	2,313
収入の部合計	5,945	6,231	6,041	6,284	6,360

支出の部	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
人件費支出	2,040	2,040	2,237	2,284	2,230
教育研究経費支出	501	535	570	658	656
管理経費支出	275	282	267	304	323
借入金等利息支出	8	8	8	8	7
借入金等返済支出	110	115	68	101	101
施設関係支出	654	585	97	115	116
設備関係支出	91	364	137	217	101
資産運用支出	40	40	244	190	150
その他の支出	221	237	211	352	435
資金支出調整勘定	△ 128	△ 80	△ 189	△ 257	△ 187
翌年度繰越支払資金	2,133	2,105	2,391	2,313	2,428
支出の部合計	5,945	6,231	6,042	6,284	6,360

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位 千円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,178,491	3,352,384	3,631,997	3,736,987	3,805,926
教育活動資金支出計	2,816,220	2,856,874	3,073,881	3,245,817	3,208,953
差引	326,271	495,510	558,116	491,171	596,973
調整勘定等	66,271	△ 35,499	△ 9,548	△ 58,451	△ 60,652
教育活動資金収支差額	428,542	460,011	567,664	432,720	536,322
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	260	29,031	10,508	74,166	260
施設整備等活動資金支出計	784,893	988,758	274,028	421,638	317,169
差引	△ 784,633	△ 959,727	△ 263,520	△ 347,472	△ 316,909
調整勘定等	15,834	△ 34,117	13,765	△ 18,379	△ 3,894
施設整備等活動資金収支差額	△ 768,800	△ 993,844	△ 249,755	△ 365,851	△ 320,803
小計 (教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額)	△ 340,258	△ 533,832	317,909	66,869	215,518
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	121,566	741,847	376,662	213,103	212,862
その他の活動資金支出計	240,949	234,905	411,724	357,665	317,546
差引	△ 119,383	506,943	△ 35,061	△ 144,561	△ 104,684
調整勘定等	272	△ 416	3,141	△ 708	4,711
その他の活動資金収支差額	△ 119,111	506,527	△ 31,921	△ 145,269	△ 99,972
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)	△ 459,369	△ 27,305	285,989	△ 78,400	115,546
前年度繰越支払資金	2,591,893	2,132,524	2,105,218	2,391,207	2,312,807
翌年度繰越支払資金	2,132,524	2,105,218	2,391,207	2,312,807	2,428,352

③事業活動収支計算書関係  
ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位 百万円)

科目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,315	2,531	2,608	2,767	2,749
	手数料	47	47	46	44	43
	寄付金	19	26	22	25	98
	経常費等補助金	692	683	750	697	722
	付随事業収入	17	15	55	33	33
	雑収入	88	50	152	171	161
	教育活動収入計	3,179	3,353	3,632	3,737	3,806
	事業活動支出の部					
	人件費支出	2,042	2,044	2,231	2,286	2,235
	教育研究経費支出	777	805	900	1,002	1,006
	管理経費支出	303	311	293	328	345
	徴収不能額等	2	4	3	1	3
	教育活動支出計	3,124	3,164	3,426	3,618	3,588
	教育活動収支差額	54	188	206	119	218
	教育活動外収支	事業活動収入の部				
受取利息・配当金		5	5	4	2	3
その他の教育活動外収入		0	0	0	0	0
教育活動外収入計		5	5	4	2	3
事業活動外支出の部						
借入金等利息		8	8	8	8	7
その他の教育活動外支出		0	0	0	0	0
教育活動外支出計		8	8	8	8	7
教育活動外収支差額	△ 3	△ 3	△ 4	△ 6	△ 4	
経常収支差額	51	185	201	113	214	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	1	0	0
	その他の特別収入	4	33	21	29	6
	特別収入計	4	33	21	30	7
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	2	1	1	1	1
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	2	1	1	1	1
特別収支差額	2	32	20	29	5	
基本金組入前当年度収支差額	53	217	222	142	220	
基本金組入額合計	△ 770	△ 439	△ 345	△ 370	△ 273	
当年度収支差額	△ 717	△ 222	△ 123	△ 229	△ 53	
前年度繰越収支差額	△ 3,451	△ 4,169	△ 4,391	△ 4,514	△ 4,743	
翌年度繰越収支差額	△ 4,169	△ 4,391	△ 4,514	△ 4,743	△ 4,796	
(参考)						
事業活動収入計	3,187	3,391	3,657	3,769	3,816	
事業活動支出計	3,135	3,174	3,435	3,627	3,597	

## 2. その他

### ①有価証券の状況

(単位：千円)

種 類	当年度（令和6年3月31日）		
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
債権	602,750	594,089	-8,662
株式	0	0	0
投資信託	0	0	0
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	602,750	594,089	-8,662
時価のない有価証券	2,300		
有価証券合計	605,050		

### ②借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高
日本私立学校振興・共済事業団	955,400
兵庫県私学振興協会	55,600

### ③学校債の状況

なし

### ④寄付金の状況

(単位：千円)

科目	収入額
特別寄付金	17,641
一般寄付金	80,798
現物寄付	6,454

### ⑤補助金の状況

(単位：千円)

科目	収入額
国庫補助金	342,033
地方公共団体補助金	379,136
その他	450

### ⑥収益事業の状況

私立学校法に定める収益事業は、該当ありません。

### ⑦関連当事者等との取引の状況

なし

### ⑧学校法人間の財務取引

なし